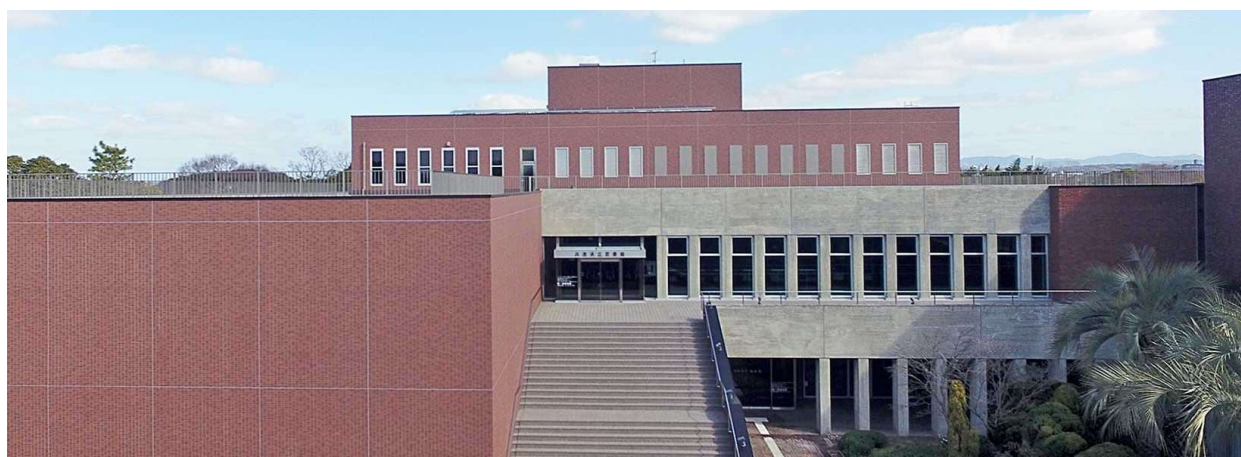


兵庫県立図書館

開館50周年

記念事業記録集



兵庫県立図書館

記 録 集 目 次

発刊のことば	兵庫県立図書館長	野村 孝	1
1 開館50周年記念式典			
(1) 式次第			4
①式辞	兵庫県教育長	藤原 俊平	5
②来賓祝辞	兵庫県議会文教常任委員長	北上 あきひと	6
③50年のあゆみを動画で紹介			7
④謝辞	兵庫県立図書館長	野村 孝	17
⑤記念式典出席者			18
(2) 記念トークイベント 「書籍の森で時間を止めて ～読書の醍醐味と人生～」			
	講師 玉岡 かおる		19
(3) 図書館バックヤードツアー			
			20
2 展示			
(1) 企画展示			21
(2) 図書展示			24
(3) 特別展示			27
3 講座			
一般講座			30
4 イベント			
(1) 図書館夏祭り			32
(2) つながる絵ワークショップ			34
資料(1)	兵庫県立図書館のあゆみ 年表		36
資料(2)	市町立図書館紹介		39

発刊にあたって

兵庫県立図書館長 野村 孝

兵庫県立図書館（以下「県立図書館」）は、昭和 49 年 10 月 1 日に開館し、この度、開館 50 周年を迎えました。

兵庫県の図書館業務の歩みを見ると、戦前の「兵庫県巡回文庫」、戦後の「移動図書館」のように、県民の皆様の読書・調査研究活動の支援を行うため、県域全体を巡回する形での事業が展開される一方で、建物としての県立図書館については、県民の皆様の要望を受け、幾度となく検討がなされたものの、実現には至らないという状況が続いていました。しかし、昭和 44 年、県政振興計画の基幹的施策として県立図書館の設置が取り上げられたことで具体化が進み、昭和 49 年 10 月、ついに建物としての県立図書館の設置・開館が実現しました。

他の 46 都道府県では、既に都道府県立の図書館が設置されており、兵庫県の図書館設置は全国で最も遅いものでしたが、同時期に計画さされていた市立図書館（移転前の旧明石市立図書館）と接する、全国的にも例を見ない形での設置であり、図書目録の編成について、コンピューターを国立国会図書館に次いで採用するという先進的なものでした。

また、住民向けの貸出を行う市立図書館と接していることもあり、県立図書館は「図書館ネットワークの核となる相互協力センター機能」「レファレンス・サービスに重点を置いた調査相談センター機能」「県内の図書館活動に必要な資料を保存する資料保存センター機能」に注力した「図書館の図書館」というコンセプトの下に開館し、その後、時代の変化や利用者の皆様のニーズに応え、平成 13 年 11 月から、利用者向けの「直接貸出し」を実施しました。

こうして開館した県立図書館ですが、開館からの 50 年間で、蔵書数は約 3 万 3 千冊から約 66 万 8 千冊に増加しました。冊数としては都道府県の中では最も規模が小さいものの、「図書館の図書館」としてスタートしたこともあり、「学術・専門書」を中核とした特色のある蔵書となっています。

また、開館からの利用状況を見ると、利用者数は約 485 万人、貸出冊数は約 177 万冊、県民の調査研究活動を支援するレファレンスが約 85 万回となっており、阪神・淡路大震災や新型コロナの感染禍などの不測の事態もありましたが、県民の皆様の読書・研究調査活動を支援するという役割を日々果たしてきたところです。

しかしながら、課題として、県立図書館が立地する東播磨地域や近接の神戸地域の皆様の利用が多く、県立図書館から離れた地域の皆様の利用が相対的に少ないという状況があります。県立の施設として、いずれの地域の県民の皆様に対しても、書籍をはじめとした知的情報である図書館資料へのアクセスを十分に確保するため、来館者向けのサービスの充実はもとより、「Web での利用登録」や「電子書籍」といった、県立図書館に来館しなくても利用可能なサービスの整備を、更に進める必用があると考えています。また、障害をお持ちであったり、外国語を母語とする皆様に対する図書館資料へのアクセス確保についても、対応が必要な課題です。

県立図書館が、より県民の皆様に関心していただける施設となり、今後、更に 10 年、20 年と新たな節目の年を迎えることができるよう、引き続き取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

記 録 篇

1 開館 50 周年記念式典

開催日：令和 6 年 10 月 21 日（月）

開催場所：兵庫県立図書館 第 2 研修室

参加人員：132 名

来賓・随員	図書館関係者	一般 ※	合計
12 名	22 名	98 名	132 名

※参加申込のあった利用者等の内の当選者

式次第

開 会

式 辞 兵庫県教育長 藤原 俊平

来 賓 祝 辞 兵庫県議会文教常任委員長 北上 あきひと

来 賓 紹 介

主 催 者 紹 介

祝 電 披 露

50 年振り返り映像

謝 辞 兵庫県立図書館館長 野村 孝



式典会場のようす

① 式 辞

兵庫県教育長
藤原 俊平



すがすがしい秋風が心地よく感じられる今日の佳き日に、兵庫県立図書館が開館50周年を迎えられましたことを心から嬉しく思います。本日は、ご多用にも関わりませず、ご来賓並びに関係者の皆様、県民の皆様にご臨席いただき、厚くお礼申し上げます。また、平素よりご支援を賜り、重ねてお礼申し上げます。

兵庫県では、昭和4年に「兵庫県巡回文庫」を発足させて以降、県内全域を巡って読書普及活動が続けてきました。戦後、全国各地で図書館の建設が活発化する中、本県においても、県立図書館建設の検討を重ね、昭和49年10月、念願の兵庫県立図書館が誕生しました。

当時、明石市立図書館と県立図書館が隣接するという全国的にも例を見ない特徴とともに、県下の市町立図書館が担う住民サービスを支援する、いわゆる「図書館の図書館」としての大きな役割を果たしてきました。

開館以来、昭和51年度に市町立図書館等への県立図書館資料の貸出サービスの開始、平成7年度に阪神淡路大震災の記録を伝えていくフェニックスライブラリーの開設、平成11年度にインターネットを活用した図書館ネットワークシステムの導入、平成13年度に来館者向けの直接貸出サービスの開始、そして、平成28年9月から1年半かけた大規模改修工事の実施など、図書館の魅力づくりに向けて、様々な取組を展開してまいりました。

この度、開館50周年という大きな節目を迎えることができたのも、ひとえに、職員の皆様のご努力、そして、関係者の皆様のご支援の賜で有り、改めて、感謝申し上げる次第であります。

Society5.0時代の到来、グローバル化の進展、国際情勢の不安定化など先行き不透明な予測困難な時代を迎えています。しかし、このような変化の激しい時代であっても、子どもたち一人一人が自ら「在りたい自分」や「在りたい社会」の実現に向けて課題を発見・解決し、新たな価値を創造していく力を育むことが重要であります。更に、県民だれもが、生涯にわたって学び続けられる機会の確保とともに、自らの可能性を最大限に伸ばし、学びの成果を様々な場で発揮できる社会を形成することが求められています。それだけに、県立図書館の果たす役割は今後も益々重要となってまいります。

開館50年を迎えるこの機に、県立図書館では、電子書籍の供用の開始、図書館システムを更新しWEB上で利用登録申込を可能にするなど、来館を必要としないサービスの充実を図る新たなステージにも入ろうとしています。

県立図書館を運営してきたこれまでの歴史と実績を大切にしながら、未来に向かって、社会のニーズや県民のニーズに応える、次代にふさわしい県立図書館をめざし、邁進してまいります。

最後になりますが、本日ご出席の皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

② 来 賓 祝 辞

兵庫県議会文教常任委員長
北上 あきひと



兵庫県立図書館開館50周年、誠におめでとうございます。また、本日の記念事業がかくも盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

県立図書館におかれましては、1974年の開館以来、兵庫の情報拠点として、利用者の調査研究の支援や市町立図書館の支援に取り組んでこられました。長年にわたり県内全域へのサービスの提供にご尽力され、多くの県民の期待に応えてこられたことに心から敬意を表したいと存じます。

50年間の間には様々なことがございました。その都度に時宜を得た事業を展開されてきたものと存じます。1995年1月の阪神・淡路大震災では、県立図書館も大きな被害を受けられました。そのなかにあつて、同年11月にはフェニックス・ライブラリーを開設され、その後も継続的に震災関連資料の収集・整理・公開・共有化に努めておられます。

2014年11月には図書館発防災フォーラムを実施される等、防災先進県兵庫の県立図書館としてその使命を存分に果たしてこられました。

コロナ禍にあつては、感染拡大防止のためにステイホームが求められた訳ではありますが、その際には郵送図書貸出を迅速に実施されました。外出せずとも本を借りることが叶い、広く読書の機会が保障されました。図書館として県民の心身の健康保持に貢献されたものと認識するところであります。

デジタル化社会を迎えるなか、県立図書館では、Eメールによるレファレンスサービスやインターネットによる貸出予約、電子図書の閲覧等を展開されています。紙のページをめくる、心躍る確かな喜びはかけがえのないものでありますが、多様な県民のニーズに対応するためには、図書館業務のデジタル化は必須であり、果敢な取り組みに改めて敬意を表します。

「図書館は成長する有機体である」。これは世界中の図書館司書が知る有名な言葉だそうです。これからも、いつの時代も、県民一人ひとりの幸せに寄与し、そして豊かな兵庫と平和な世界の創造につながる兵庫県立図書館であるために、関係者の皆様のより一層のご奮闘をご期待申し上げます。合わせて、県議会としても、図書館の発展のためにその役割をしっかりと果たす決意を申し述べたいと存じます。

結びに、ご参集の皆様のみすますのご健勝、ご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

③ 50年のあゆみを動画で紹介



AIナレーションによる動画全7分44秒
兵庫県立図書館 YouTube にて公開中です！

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



移動公民館バス

⑧



兵庫県教育委員会 王子分館に
県立図書館設立準備室を設置

⑨



兵庫県教育委員会 王子分館に
県立図書館設立準備室を設置

⑩



図書館開館式典① (知事と明石市長)

⑪



図書館開館式典②

⑫



開館当時の開架 相談窓口のようす

⑬



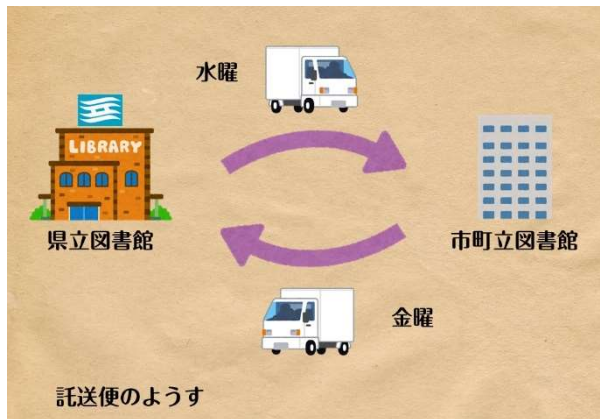
当時の資料課の事務風景

⑭



協力貸出のイメージ (くすの木第30号のイラストより)

⑮



⑯



⑰



⑱



⑲



⑳



㉑



㉒



②③



現在のフェニックス・ライブラリーのコーナー
(約11,000点)

②④



フェニックス・ライブラリーに配架した資料例
(くすの木第63号より)

②⑤



TRC MARCとは
貸出・返却作業や選書、蔵書点検時に役立つ図書の
データベースです

②⑥



ひょうご図書館情報ネットワークシステム
(HALネット) 運行開始

②⑦



蔵書検索用パソコンを利用するようす
(HALネットで蔵書を検索)

②⑧



蔵書検索用パソコンを利用するようす
(くすの木第53号より)

②⑨



カウンターでの登録・貸出を開始
(くすの木第57号より)

③⑩



当時の利用カード

③1



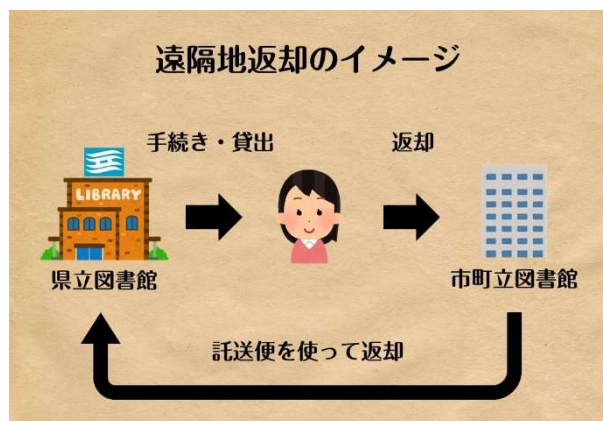
図書館利用講座のうち、一般向け講座のようす

③2



蔵書図書館利用講座のうち、市町立図書館向け研修会の実施

③3

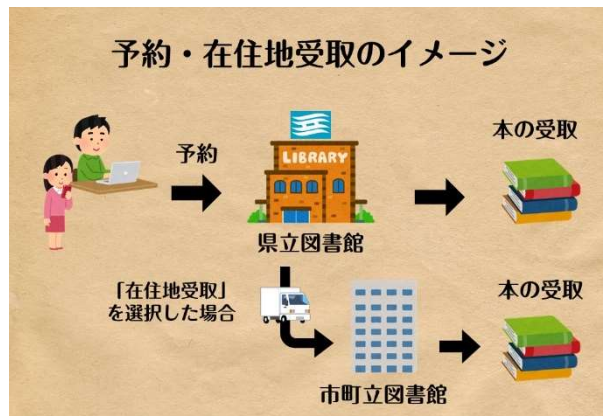


③4



HALネットの更新
(新旧サーバー入れ替え作業のようす)

③5



③6



テーマに合わせて選書した図書 (50~100冊) を学校へ貸出

③7



図書館職員が講師として学校サポート講座 (ビブリオバトル、著作権など) を実施

③8



工事中の外観

③⑨



1階ホール（改修前）

④⑩



1階ホール（工事中）

④⑪



1階ホール（改修後）

④⑫



大閲覧室（改修前）

④⑬



大閲覧室（工事中）

④⑭



大閲覧室（改修後）

④⑮



外階段（改修前）

④⑯



外階段（工事中）

④7



④8



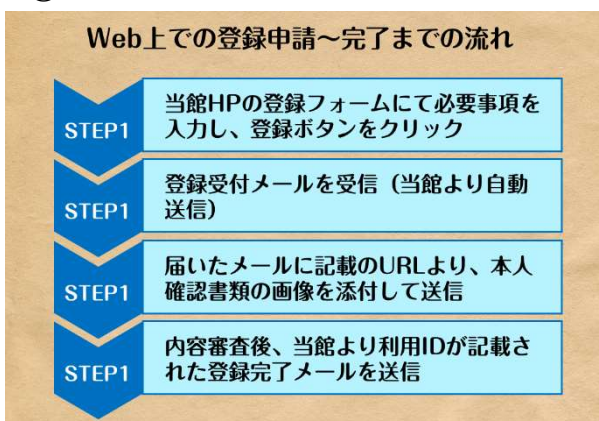
④9



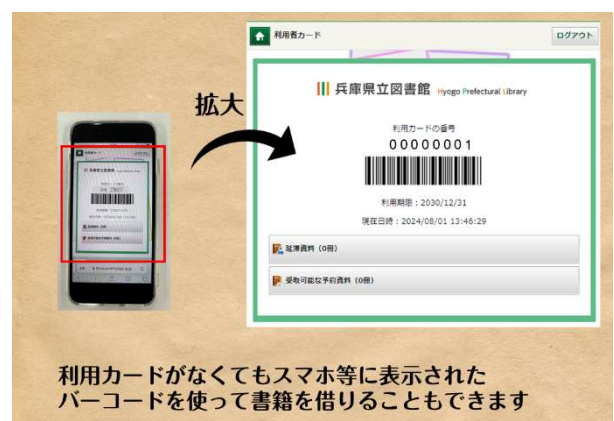
⑤0



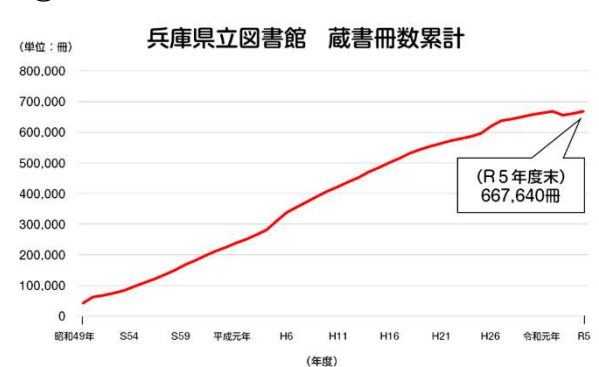
⑤1



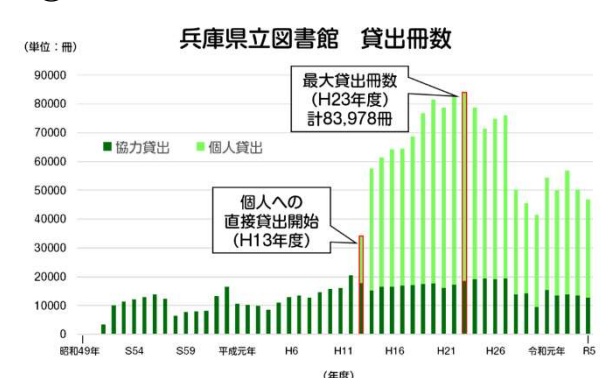
⑤2



⑤3



⑤4



55



56



● 50年のあゆみ動画 原稿

①～④ 兵庫県立図書館は、昭和49年10月1日に、現在の場所で開館し、令和6年10月で50周年を迎えます。

これまでの約50年間の主な取り組みを振り返っていきます。

⑤～⑦ 昭和3年頃から、全国的に図書館の設立が奨励され、多くの公立図書館が誕生しました。兵庫県では昭和4年度に「兵庫県巡回文庫」の運営を開始し、戦時中は一時活動を中止していましたが、昭和26年度に「移動公民館」に名前を変えて巡回を再開しました。

⑧～⑬ 昭和44年度に県政振興計画の基幹的施策の一つとして、県立図書館の設置が掲げられ、昭和49年10月に開館しました。

明石市立図書館との併置という、全国的にも例を見ない形をもって、「所在地区の住民に対するサービス部門」を切り離し、県内の図書館等をサポートする、いわゆる「図書館のための図書館」の機能を主軸に置きました。

⑭ 昭和51年度には、市町立図書館等の活動を推進し、支援するため、利用者がお住まいの地域の図書館で、県立図書館の資料を受け取れる協力貸出サービスを開始しました。

⑮～⑱ 昭和58年度には、協力貸出を効率的に実施するために配送業者と契約し、定期的に市町立図書館との貸出・返却を行う託送便貸出サービスを開始しました。これにより、市町立図書館との資料のやり取りがスムーズになりました。

⑲～⑳ 平成7年1月17日に阪神・淡路大震災が発生し、当館も図書の落下・破損、水道管破裂による図書の冠水などの被害を受け、同年1月30日まで臨時休館しました。

㉑～㉔ 震災関連資料の散逸を防ぎ、震災の記憶、記録を後世に伝えていくため平成7年11月に「フェニックス・ライブラリー」を郷土資料室に開設し、図書、雑誌の特集号、チラシなど約2,800点を配架しました。

㉕～㉘ 平成元年、図書館システムのコンピューターを初めて導入しました。

平成11年4月には蔵書目録作成などの業務の省力化を図るため、高い機能性と汎用性を持つTRC MARCを採用しました。

同年9月に、「ひょうご図書館情報ネットワークシステム（HALネット）」の運営を開始しました。インターネットを使って、利用者の皆様はいつでも蔵書検索が、市町立図書館は協力貸出の申込が出来るようになりました。

㉙～㉚ 時代の変化や、利用者の皆様のニーズに対応し、平成13年11月から来館者の皆様への直接貸出を開始しました。

㉛～㉝ 平成15年度から、図書館を身近に感じていただくために興味を引くテーマで図書館利活用講座を行うとともに、Eメールを使った調査相談サービスを開始しました。平成17年度から、当館で借りた図書をお住まいの市町立図書館で返却できる遠隔地返却

システムを実施するなど、サービスの充実に取り組んでまいりました。

③④～③⑦ 平成19年1月にはHALネットを更新し、インターネットによる図書の予約を開始するとともに、予約した図書を市町立図書館で受け取ることもできる在住地受取を導入しました。平成22年6月には県内の学校を支援する、「学校サポートプロジェクト」を開始しました。調べ学習等に活用できる図書をまとめて貸出する「セット貸出」や、著作権やビブリオバトル等をテーマに講師を派遣する「学校サポート講座」等を実施しています。

③⑧～④⑦ 平成28年9月から平成30年3月まで耐震改修工事を行いました。開館以来初めての大規模工事であり、建物の耐震機能の強化に加え、来館者用エレベーターや親子読書スペースの新設、書架や閲覧席の増設など、図書館機能の充実に図りました。

④⑧ 令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染拡大のため、2度にわたり臨時休館しました。同年5月26日から検温やアルコール消毒を取り入れながら開館しました。

④⑨～⑤② 新型コロナウイルスの影響や、兵庫県全域の皆様に、より県立図書館をご利用いただくため、非来館型サービスの充実に図ることとしました。

令和5年4月から来館せずに図書を閲覧できる電子書籍サービスを開始しました。各種事典、各分野の専門書など6,236冊を24時間いつでも閲覧できます。

また、HALネットの更新に合わせ、令和6年1月からweb上で利用登録申込ができるようになりました。

これにより、来館せずに県立図書館の図書が借り易くなりました。

⑤③ ここで、統計的にこれまでの50年での主な指標を振り返りたいと思います。

まず、蔵書冊数です。開館当初は約43,000冊でしたが、現在は約668,000冊を所蔵しています。

このうち、閲覧室には約14万冊を配架しています。

⑤④ 次に、貸出冊数です。

当館では昭和51年から市町立図書館を通じての貸出を行い、平成13年からは利用者の皆様への直接貸出を始めました。

これにより、貸出冊数は大幅に増加しましたが、近年は、平成28年の改修工事や明石市立図書館の移転、令和2年からの新型コロナウイルスの影響などを受け、減少の傾向がみられます。

⑤⑤ 最後に、来館者数です。

開館以来、平成26年度までは順調に右肩上がり推移してきましたが、貸出冊数の推移と同様に、近年は減少傾向となっています。

一方、電子書籍の利用者数はサービス開始の令和5年度で来館者数に対して約13%、令和6年8月では約23%と増加傾向です。

⑤⑥ 引き続き、さらなる利用促進に向け、資料の充実とサービスの向上、積極的な広報活動を展開し、より県民の皆様に身近な図書館となるよう邁進して参ります。

今後とも、変わらぬご支援・ご利用を賜りますようお願い申し上げます。

④ 謝 辞

兵庫県立図書館館長
野村 孝



ご来賓の皆様、関係者の皆様、そして、この開館50周年記念事業にご応募いただいた県民の皆様におかれましては、本日は、お忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございました。

県立図書館は、先ほどのスライドでもありましたとおり、昭和49年に、県下の図書館をサポートする「図書館の図書館」として、蔵書約43,000冊で産声をあげ、その後50年間で、蔵書約668,000冊に成長いたしました。冊数自体は、都道府県の中では最も規模が小さいところですが、「図書館の図書館」としてスタートしたこともあり、「学術・専門書」を中核とする蔵書となっており、「山椒は小粒でピリリと辛い」の諺のとおり、小さくともキラリと光る特色の有る図書館となっております。

こうして、県立図書館が成長できてまいりましたのも、本日、お集まりのご来賓の方々をはじめとした議会・行政の皆様のご理解、県下の図書館のお力添え、図書館の運営にご尽力いただいた皆様、そして、なにより、この県立図書館を、平素からご利用いただいた県民の皆様のおかげと、深く感謝申し上げるところでございます。

この50年間で、県立図書館の利用者数は約485万人、貸出冊数は約177万冊、利用者の皆様の調査研究活動への支援であるレファレンスは約85万件となっており、県民の皆様が、書籍の中の「知」へアクセスされることに、一定の役割を果たしてこられたのではないかと考えております。

今後も、県民の皆様に遍くサービスを提供するという県立施設の本旨を踏まえ、県立図書館から離れた地域にお住まいの県民の皆様にも、この図書館に親しんでいただけるよう、電子書籍やインターネットでの利用登録など、図書館に来館しなくても書籍を利用できる環境整備に取り組むとともに、図書館自体が利用者の皆様の「知的な欲求」を刺激する空間でありますので、更に多くの県民の皆様が来館し、書籍を利用していただけるよう、努めてまいりたいと考えております。

県立図書館が、更に10年、20年と節目の年を迎えることができますよう、お集まりの皆様のご理解、ご協力、また、一層のご利用をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸をお祈りし、お礼のご挨拶とさせていただきます。本日は本当に、ありがとうございました。

⑤ 記念式典出席者

※敬称略

No.	機関・職名等	氏 名	備 考
1	兵庫県教育委員会 教育長	藤原 俊平	◎
2	兵庫県 教育委員	井上 真二	◎
3	東播磨県民局 局長	野北 浩三	◎
4	兵庫県教育委員会事務局 社会教育課長	大久保 拓哉	◎
5	兵庫県議会 文教常任委員長	北上あきひと	◎
6	兵庫県議会 西区選出	石井 秀武	◎
7	兵庫県議会 明石市選出	岸口 みのる	◎
8	兵庫県議会 明石市選出	伊藤 勝正	◎
9	明石市 市長	丸谷 聡子	◎
10	明石市議会 副議長	寺井 吉広	◎
11	県立美術館 副館長	井野 健三郎	○
12	県立歴史博物館 副館長	市村 高子	○
13	(公財) 兵庫県園芸・公園協会 理事長	寺谷 毅	○
14	あかし市民図書館 館長	由井 清美	○
15	神戸市立中央図書館 館長	中山 祐介	○
16	伊丹市立図書館 館長	山田 正人	○
17	加古川市立中央図書館 副館長	田中 康夫	○
18	高砂市立図書館 館長	橘 安代	○
19	稲美町立図書館 館長	井上 理香	○
20	播磨町立図書館 館長	山本 一美	○
21	元 園田学園女子大学人間健康学部准教授	藤井 雅英	○
22	一般社団法人兵庫県子ども会連合会 副理事	太田 はるよ	○
23	NPO法人おはなしくれよん 理事長	川石 雅代	○
24	神戸新聞 論説委員	木村 信行	○
25	神戸女子大学 特任教授	坂下 直子	○
26	公募委員	津谷 宏子	○
27	公募委員	西海 悦子	○
28	元館長 R3-5	村上 元伸	○
29	元次長 H29-30	清宗 衛	○
30	元次長 H26-28	田中 豊久	○
31	元次長 H12-13	坂本 一昭	○
32	兵庫県教育委員会事務局 社会教育課 指導主事	谷本 麻衣子	○

◎：来賓 ○：図書館関係者
一般参加者 98 名 合計 132 名

随員 2 名

(2) 記念トークイベント

- ① 演題 「書籍の森で時間を止めて
～読書の醍醐味と人生～」

- ② 講師 玉岡 かおる 氏



- ③ 参加人員：121名（うちパブリックビュー 43名）
※定員を大幅に超える応募があったため、講演の様子をライブで視聴できるパブリックビュー会場を用意

- ④ 概要：玉岡かおる氏による講演の後、参加者との質疑応答

- ⑤ 講演の趣旨

デビュー当時、この兵庫県立図書館によく通っていました。専業主婦で子育てをしながらの執筆活動。取材旅行に出かける時間もなく、必然、足元である地元をテーマにした作品を書くようになりました。そこで、兵庫県立図書館の郷土資料をよく利用させていただきました。

古今東西、様々なテーマの本がそろっている図書館はまさしく「森」のようで、入ると時間を忘れてしまう場所。

たとえば、ストックホルム図書館では、人間にとって居心地のいい円形的设计になっています。

必ずしも本を読まなくとも、その空間にいただけでいい。眠ってしまっても構わない。紙の本の匂いや、手触り、ページをめくるときの音など、五感に訴えかける良さが図書館にはあります。空間そのものを味わうことで、図書館をより楽しんでほしいと思います。



本を読むと、顔を見たこともない、何千年も昔に生きた人の人生が、血を流しながら得た教訓、知恵が詰まっています。そういった本を図書館が現代まで保存してきました。そんな書籍の森にいられることの幸せを感じていただければと思います。

(3) 図書館バックヤードツアー

希望者を対象に、普段は入ることができない図書館の裏側を、職員の説明を受けながら巡るバックヤードツアーを開催。

開架に出していない本を収納している積層書庫や、市町立図書館に本の郵送準備をする託送室などの見学を実施。

参加者からは「記念式典に参加したが、バックヤードツアーが特に印象に残った。」「普段立ち入れない部屋などを見て得した気分になった。ぜひ別の機会にも開催してほしい。」等の意見が寄せられた。

参加人員：68名

A 班	B 班	C 班	D 班	合計
17 名	18 名	16 名	17 名	68 名

<A・C 班 コース順路> 15 分

会場（第 2 研究室）

- ①集密書庫
- ②託送室
- ③書庫 2 層
- ④ふるさとひょうご情報室
・フェニックスライブラリー
- ⑤書庫 3 層通過
- ⑥大閲覧室・電子書籍紹介
- ⑦ 2 階ロビー【解散】

<B・D 班 コース順路> 15 分

会場（第 2 研究室）

- ①ふるさとひょうご情報室
・フェニックスライブラリー
- ②書庫 3 層
- ③大閲覧室・電子書籍紹介
- ④託送室
- ⑤集密書庫
- ⑥ 1 階ロビー【解散】

※A・B班、C・D班がそれぞれ同時に巡回



2 展示

開館 50 周年を記念し、県立図書館の歩みや「50」に関連した展示を実施した。

(1) 企画展示

明石工業高等専門学校連携展示 建築を楽しむ ～歴史的建造物から最新建築まで～

展示期間：令和6年3月22日
～8月14日

展示場所：大閲覧室、2階ロビー
連 携 先：明石工業高等専門学校

建築関係の展示を始めて5年目となる明石工業高等専門学校との連携展示を行った。

今回の展示では、有名建築家の建築物の模型とともに当館の資料を展示。詳細な資料と共に、有名建築の模型をいろいろな角度からご覧頂き、建築の面白さや奥深さを学んでいただける機会とした。



貴重な資料で振り返る 50 年展

展示期間：令和6年8月16日
～令和7年3月19日

展示場所：大閲覧室

装丁が珍しい巻物や、出版年が古い貴重な資料と、50周年の50に関連した資料などを集めた展示を行った。

50年前に出版された本、図書館の貸出・予約ベスト50に分けた内容は興味深く、巻物や兵庫県巡回文庫の木箱など、普段目にすることがない資料を見ていただくよい機会となった。



この 50 年をふりかえって
～ヴィジュアル辿る 50 年の軌跡～

展示期間：令和 6 年 9 月 20 日
～12 月 18 日

展示場所：大閲覧室

当館が歩んできた 50 年間の流行や世相、歴史的な出来事を図書やレコードジャケットなどのグッズで振り返る展示。昔と今の漫画雑誌や電話機のパネル等を掲示し、視覚的に時代の変遷を感じられる内容とした。



みんな 50 歳！
～県立図書館の同い歳集めました～

展示期間：令和 6 年 12 月 20 日
～令和 7 年 3 月 19 日

展示場所：大閲覧室

県立図書館と同じ“50 歳のもの”と、関係資料をあわせた展示を行った。日常生活に身近な食品、アニメ・キャラクター、おもちゃのほか、貴重なアメダスの実物機器を展示し、懐かしさに触れつつ、防災についても意識される機会となった。



丸善雄松堂コラボ企画
教育・文化の今むかし

展示期間：令和6年8月16日
～9月18日

展示場所：大閲覧室

連 携 先：丸善雄松堂株式会社

丸善雄松堂株式会社と「教育・文化の今むかし」をテーマにコラボ展示を行った。

「昔の教育・学習方法」を教育関係資料等で振り返り、そして「今（現代）の教育・学習方法」をレファレンスを活用した調べ学習の方法、情報検索のしかたなどの関係資料知ることができる展示とした。



(2) 図書展示

ひょうごを巡る50冊

展示期間：令和6年4月19日
～7月17日

展示場所：ふるさとひょうご情報室
連 携 先：兵庫五国連邦プロジェクト

有名な観光地、魅力的な名物名所が数多く、古典文学から話題作まで舞台としても取り上げられていることが多い兵庫県。

本の世界に飛び込み県内を巡り楽しめるような図書を、当館50周年に合わせて50冊（兵庫五国・各10冊）と、関連観光資料をご紹介します。郷土への関心を深める機会とした。



阪神甲子園球場100周年

展示期間：令和6年6月21日
～8月14日

展示場所：ふるさとひょうご情報室
連 携 先：阪神甲子園球場

阪神甲子園球場は、1924年の竣工から今年で100周年となり、兵庫県立図書館の2倍の歴史を重ねている。これに合わせ、阪神甲子園球場や阪神タイガース・高校野球に関する資料、周辺地域の歴史や名所に関する資料を展示した。



おかげさまで 50 年
～県民・図書館とともに～

展示期間：令和 6 年 8 月 16 日
～12 月 18 日

展示場所：ふるさとひょうご情報室

兵庫県立図書館開館 50 周年にあわせ、利用していただいた 利用者・図書館 に感謝を込めて、兵庫県立図書館 と 兵庫県内公共図書館に関連する所蔵資料を展示し、兵庫県の図書館の歩みをたどる機会とした。



図書館と同一年の郷土資料たち

展示期間：令和 6 年 10 月 18 日
～12 月 18 日

展示場所：ふるさとひょうご情報室

兵庫県立図書館の開館 50 周年を記念し、郷土資料の中から、昭和 49 年度に発行された図書館資料を展示した。図書だけでなく、開館当時に県内で発行された広報誌など、関連した当館資料を展示することで、利用者に関心を持っていただける機会となった。



兵庫にゆかりのある作家 50 人

展示期間：令和 6 年 12 月 20 日

～令和 7 年 3 月 19 日

展示場所：ふるさとひょうご情報室

開館 50 周年を記念し、兵庫にゆかりのある作家 50 人の当館資料を展示。
在住歴のある作家や、兵庫にゆかりのある直木賞・芥川賞作家の作品などを紹介した。



県立図書館・BL出版50周年コラボ企画 本を読む楽しみを届けるために

展示期間：令和 6 年 7 月 19 日

～10 月 16 日

展示場所：ふるさとひょうご情報室

連 携 先：BL出版

県立図書館と県内の出版社である BL 出版は、令和 6 年にともに 50 周年を迎えた。

お互いの 50 周年を記念し、コラボ企画として資料展示を実施し、BL 出版の主な出版物である絵本や児童書に親しむ機会を利用者に提供した。



(3) 特別展示

兵庫県立図書館のあゆみ

展示期間：令和6年4月26日
～11月20日

展示場所：1階ロビー

兵庫県立図書館が50周年を迎えるにあたり、「兵庫県立図書館のあゆみ」と題した年表を展示。

※展示内容は資料篇参照



図書館の今むかし

展示期間：令和6年6月下旬
～11月20日

展示場所：1階ロビー

過去に業務で使用していた資料や利用者数の推移、明石公園の昔の写真など、50年分の歴史をわかりやすく感じられる展示品を紹介。



兵庫県内市町立図書館の紹介

展示期間：令和6年7月上旬
～11月20日

展示場所：1階談話室

50周年記念特別展示として、兵庫県内に約40ある市町立図書館の紹介をパネル展示。

※展示内容は資料篇参照



その他 令和6年度中に実施した展示

あなたの新生活応援します！ ～ひょうごで入学・就職する方～ (図書)	ふるさと ひょうご 情報	令和6年2 月16日～ 5月26日	4月は新しい生活をスタートする方が多い季節。入学や就職、転勤、退職、第二の人生のスタートの手助けができる関連資料を集めて提供。兵庫で新生活を始める方向けに、地域情報・兵庫の雑学等見て楽しめる書籍を用意し、当館の幅広い資料に触れてもらう機会とした。
読まずに死ねない！古典名著 (図書)	大閲覧室	令和6年2 月16日～ 5月15日	日本の著書に限らず、世界の名著についてもいくつかピックアップし、解説書と合わせて展示。古典名著の読み方や様々な日本・世界の名著について紹介している本も展示し、難しそうで敬遠してきた、概要は知っているけど深くは今まで読んでこなかった方が少しでも読もうと思えるような機会とした。
2024 ひょうご本大賞 (図書)	ふるさと ひょうご 情報	令和6年 10月18日 ～12月18 日	兵庫県にゆかりのある著者または兵庫県が舞台の小説から、県内読者に読んでほしい本を選ぶ「ひょうご本大賞」。今年の最終ノミネート4作品とその関連資料を展示した。最終ノミネート作品は人気が高く、貸出中の本が続出するなど、利用者の方に兵庫ゆかりの本に関心を持っていただけた。
ノーベル賞関連展示 2025 (図書)	大閲覧室	令和6年 10月18日 ～12月18 日	ノーベル賞受賞者の発表に伴い、それぞれの賞の受賞内容に関連する図書を紹介し、県民の興味関心を深める機会とした。
干支のアラカルト (図書)	大閲覧室	令和6年 12月20日 ～令和7年 1月19日	令和7年（2025年）、乙巳（きのとみ）年を迎えるにあたり、「乙巳」、「巳」について書かれた資料について紹介すると共に、巳年の出来事等や令和7年の予定等関連についての資料を展示し、干支や巳年、巳に関する知識を深めていただく展示とした。

阪神・淡路大震災から 30年 (図書)	ふるさと ひょうご 情報	令和6年 12月20日 ～ 令和7年 3月19日	阪神・淡路大震災発生から30年の節目の年に、改めて防災や減災について考えるきっかけになるよう、阪神・淡路大震災に関する資料のほかに最新の防災についての資料を集めた展示を行った。また、未来を担う子どもたちに震災の教訓をわかりやすく伝えるため、大型絵本などの子ども向けの資料をあわせて展示した。
いわさきちひろの世界 ～いのちと平和としあわせを考える～ (連携)	大閲覧室	令和7年3 月19日～ 5月14日	明石市立文化博物館で、春季特別展「いわさきちひろ×plaplaax あれこれ いのち」とラリーイベントが開催される。これにあわせて、当館所蔵のいわさきちひろの著書や絵本、ちひろの画法、ちひろの愛した自然、こどもの平和に関連した資料とともに、関連グッズを展示した。
書籍でより楽しむ！大河 ドラマ「べらぼう～蔦重栄 華乃夢晰～」 (企画)	大閲覧室	令和7年3 月19日～ 6月18日	今年の大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢晰～」に関連した展示し、蔦屋重三郎などのドラマの登場人物の関連書籍や江戸時代の生活、出版物や浮世絵などの展示。 当館が所蔵する資料を通して、江戸時代についての理解を深め、大河ドラマべらぼうをより楽しんでもらう機会とする。
兵庫県立考古博物館×兵 庫県立図書館 ひょうごの銅鐸 (企画)	ふるさと ひょうご 情報室	令和7年3 月19日～ 5月14日	兵庫県立考古博物館 春季特別展「弥生の至宝 銅鐸」と連携し、「気比の銅鐸」(流水文銅鐸)・「松帆銅鐸」をはじめ兵庫県内で発見された「銅鐸」に関連する資料を中心に、弥生時代・青銅器に関する資料を展示。 関連講座として、兵庫県立考古博物館担当学芸員による講演会(令和7年6月21日(土))を予定

3 講座

開館 50 周年を記念し、「50」に関連した講座を実施した。

人生 100 年時代 歩き方から学ぶ ～健康長寿の新習慣～

開催日：令和 6 年 9 月 13 日(金)

講師：重森 健太 氏

(関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科教授)

参加人員：34 名

オンラインでの参加人員：21 名

近年、高血圧、糖尿病などの血管危険因子が認知症の発症に関与すること、さらに定期的な運動（特に有酸素運動）などが発症の防御因子となることがわかってきた。そのことから、当講座では最も身近な運動である歩行を通して認知症の予防について学ぶ機会となった。



その他 令和6年度中に実施した講座

テーマ	講師	開催日	参加 人員	概要
しょくぶつ探検 ～植物あそび体験 と葉っぱのミニ図 鑑づくり～	小舘 誓治 氏 (兵庫県立人と 自然の博物館)	令和6年12 月8日(日)	20 名	兵庫県立図書館が立地する明石公園内にて、人と自然の博物館の研究員を講師としてむかえ、親子と一緒に木や草花を観察し、葉っぱを使った遊びを体験。また観察後は研修室で講師に説明を受けながら、観察した植物を調べて葉っぱのミニ図鑑、葉っぱぐるぐるなどのおもちゃを作成した。
サイバーセキュ リティ研修 ～騙されないため に知っておきたい こと～	兵庫県警察サイ バーセキュリテ ィ・捜査高度化 センターサイバ ー情報発信室担 当警察官	令和7年2 月6日(木)	45 名	情報化社会がますます進んでいる昨今、サイバー犯罪も増加傾向にある。誰にも起こりえる身近な問題であり、自分の身を自分で守ることが大切になってきていることから、サイバー犯罪から身を守るための具体的な方法を現役警察官から学んだ。
連続歴史講座 ～日本の昭和時代 ～	藤井 雅英 氏 (前園田学園女 子大学准教授)	令和6年6 月13日 (木)、6月 27日(木)、 7月11日 (木)		昭和初期の混乱、太平洋戦争への道のり、当時の日本文化、著名な人物のエピソードにスポットを当てながら、歴史をたどる講座を開催。
連続城講座 ひよ うご五国の城に 迫る！ ～淡路編～	第1回 工藤 祥子(淡 路市教育委員会 社会教育課) 第2回 金田 匡司(淡 路市教育委員会 生涯学習課)	令和6年11 月7日、11 月28日 (木)		地元の城について興味を持っていたくために五国(摂津・播磨・但馬・丹波・淡路)にあるお城を順番に取り上げ、様々な角度から深く掘り下げる連続講座を開催。

4 イベント

(1) 図書館夏祭り

例年県立図書館を利用したことがない子ども達や、日頃、図書館を利用する機会が少ない方のきっかけづくりとして、子どもたちや親子で「楽しみながら学ぶ」ことができるイベントとして開催。令和6年度は50周年記念として屋台体験ブースの設置やキッチンカーを招き、コーナーの拡充を図った。

日 時：令和6年8月17日（土）
参加人員：延べ1,011名

① むしむしみっけ

場所：エントランス

兵庫県立人と自然の博物館の移動博物館車「ゆめはく」
(2トラック)による標本や資料を展示



② 「虫」にふれてみよう

場所：エントランス

講師：兵庫県立人と自然の博物館 研究員

兵庫県立人と自然の博物館の研究員による解説付きで、
昆虫や両生類に実際に触って観察できるコーナー



③ 高校生による絵本の読み聞かせ

場所：談話室

講師：県立加古川東高等学校生

県立加古川東高等学校の生徒による、自作絵本の読み聞かせ
を3回に分けて実施



④ メダカのコタロー劇団

- ・ こども絵本劇場「ひょうたん池物語」
- ・ 環境学習イベントステージ「ひょうごのため池はぼくたちが守る編」

場所：第2研修室

出演：メダカのコタロー劇団

メダカのコタロー劇団声優達による、楽しみながら環境保全や生態系について学習できるイベントステージ



⑤ ため池マンたいそう

場所：図書館前

出演：メダカのコタロー劇団

メダカのコタロー劇団の人気キャラクター「ため池マン」と参加者が一緒に、歌に合わせて踊る



⑥ 屋台体験

場所：図書館1F前広場

小学生以下の子どもを対象に、わたがし、スーパーボールすくいなどの屋台を体験してもらう



⑦ キッチンカー

場所：図書館前道路

店舗名：Loco Kii

ニコニコおむすび結

キッチンカーでの飲食物の販売



（２）つながる絵ワークショップ

開催日：令和6年8月10日
講師：BL出版株式会社 落合 直也 氏
対象：小学生以下の子ども
参加人員：40名

兵庫県立図書館と県内の出版社であるBL出版は、2024年でともに50周年を迎えた。お互いの50周年を記念し、BL出版の主な出版物である絵本や児童書に親しむ機会を提供するため、コラボ企画としてワークショップを開催した。

ウクライナ戦争をきっかけにBL出版が出版した絵本『ちきゅうパスポート』の主旨である「世界中の子どもたちはみんなつながってなかよくなれる」という思いや、世界の平和への願いを込めて、子どもたちが自由に絵を描き、それらをひとつなぎにしてジャバラ絵本を作成した。

作成したジャバラ絵本はふるさとひょうご情報室にて3か月にわたり展示された。



資 料 篇

資料（１） 兵庫県立図書館のあゆみ 年表

兵庫県立図書館のあゆみ

- 昭和44年7月 県立図書館等調査委員会設置
- 昭和45年7月 県立図書館等建設調査委員会設置
- 昭和46年4月 県立図書館設立準備室設置（神戸市灘区王子町）
- 昭和48年7月 起工
- 昭和49年7月 建物本体工事竣工
- 10月 開館
- 10月 「兵庫県立図書館の設置及び管理に関する条例」施行
- 10月 「兵庫県立図書館管理規則」施行
- 10月 「兵庫県立図書館協議会の組織及び運営に関する規則」施行
- 10月 中央視聴覚ライブラリー移管（神戸視聴覚ライブラリーから）
- 昭和51年4月 相互協力室設置
- 4月 「兵庫県立図書館利用規則」施行
- 5月 協力貸出開始
- 8月 「音楽資料室」開設
- 昭和54年4月 協力課設置
- 昭和57年9月 「ビデオライブラリー室」開設
- 昭和58年4月 託送便貸出開始



開館当時の受付



開館当時の外観

- 昭和59年10月 「図書館学資料コーナ」開設
- 平成元年4月 コンピュータシステム導入、JAPAN MARC採用
- 平成5年5月 「図書活用県民運動」実施
- 平成6年8月 「外国語資料コーナ」開設
- 平成7年1月 阪神・淡路大震災により被災
- 11月 「フェニックス・ライブラリー」開設
- 平成8年10月 巡回業務開始
- 平成11年3月 新情報提供システム（新コンピュータシステム）導入
- 4月 JCMARC採用、NDC9版へ変更
- 9月 ひょうご図書館情報ネットワーク（HALネット）運行開始
- 平成13年9月 図書館協議会の公開開始
- 11月 来館者への直接貸出開始
- 平成14年4月 携帯端末機からの蔵書検索開始
- 4月 ひょうご「本だいです」子プラン事業開始
- 6月 図書館ボランティア活動開始
- 平成15年1月 Eメールによるレファレンスサービス開始（兵庫県関係）
- 3月 図書館協議会に公募委員（2名）を追加委嘱
- 7月 県民のための図書館利用講座（オープン・ライブラリー）開始
- 平成16年3月 直接貸出による貸出冊数10万冊達成
- 9月 「開館30周年記念式典及び講演会」の実施



阪神淡路大震災での被災状況



阪神淡路大震災での被災状況

10月 Eメールによるレファレンスサービス本格実施

平成17年1月 遠隔地利用者返却システム本格実施

3月 緊急雇用創出事業（平成15年）の

成果として「兵庫県郷土資料総合目録」

（冊子・CD）及び

「兵庫県郷土雑誌記事索引」（冊子・CD）を刊行

平成18年4月 「子ども読書活動推進支援室」開設

7月 閉館時間を17時から18時まで延長（試行）

平成19年1月 ひょうご図書館情報ネットワークシステムを更新し、新ひょうご図書館情報

ネットワークシステムとして運用開始

4月 インターネットによる貸出予約・県立及び市町立図書館での受取開始

12月 国立国会図書館総合目録へデータ提供開始

平成21年4月 閉館時間を18時まで延長、月曜日を除く祝日閉館の実施

5月 「兵庫ゆかりのコーナー」開設

平成22年6月 学校サポートプロジェクト開始

平成24年1月 新ひょうご図書館情報ネットワークシステムを

更新し、ひょうご図書館情報ネットワークシス

テムとして運用開始

1月 兵庫ゆかりの人物文献検索公開



昔のマイクロフィルムリーダー



開館当時のロビー

3月 阪神・淡路大震災関連資料共有化のため、

神戸大学附属図書館にデータ提供

（デジタルアーカイブ「震災文庫」）

平成25年4月 公衆無線LAN使用開始

11月 館外巡回イベント開始

平成26年3月 フェニックス・ライブラリー震災資料検索公開

4月 「新聞資料室」開設

「調査相談課」「資料課」「協力課」を

「利用サービス課」「ふるさと・資料課」に再編

開館40周年記念事業（ふるさとひょうご関連

資料寄贈運動、ふるさとひょうご特別展示等）

開始

10月 「郷土資料室」を「ふるさとひょうご情報室」

としてリニューアルオープン

「調査相談室」の呼称を「大閲覧室」に変更

11月 阪神淡路大震災20年・県立図書館40周年

記念事業 兵庫県立図書館発！

ふるさとひょうご防災フォーラム

「小泉八雲 朗読の夕べ」実施



子ども子育て資料室



大閲覧室

平成28年6月 耐震補強工事のため休館

9月 耐震補強工事着工

仮設図書館（大明石町2-1-29）開館

平成30年3月 耐震補強工事竣工、仮設図書館

（大明石町2-1-29）閉館

7月 再開館

平成31年1月 ひょうご図書館情報ネットワークシステム

（HALネット）第4期運用開始

令和3年7月 マイナナンバーカードを利用し、県立図書館の

圖書の貸出が出来るサービスを開始

令和4年2月 談話室「雀庵」を開設

令和5年4月 「親子読書室」の呼称を「子ども子育て資料室」

に変更

電子書籍供用開始

令和6年1月 ひょうご図書館情報ネットワークシステム（HALネット）

第5期運用開始

令和6年4月 蔵書数 667,640冊

累計利用者数 4,785,545人

累計個人貸出数 1,080,494冊

累計協力貸出数 663,762冊

（いずれも令和5年度末現在）



現在の外観

資料（２） 県内市町立図書館紹介

神戸市立中央図書館

HPIはこちら



〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目2-1
TEL 078-371-3351 FAX 078-371-5046
神戸市営地下鉄「大倉山駅」下車 北200m(徒歩5分)
神戸高速鉄道「高速神戸駅」下車 北500m(徒歩10分)



明治44年11月に開館した神戸市立図書館は、大正10年に現在地に移転し、大倉山の図書館として市民に親しまれています。

昭和55年には、中央図書館機能の充実と利用の増加に対応するため新館を建設しました。平成7年の阪神・淡路大震災により移転当時の建物(旧館)は、大きな被害を受けたため建替工事をを行い、平成9年、ロマネスク風の外観を再現し「2号館」として開館しました。

平成2年に、市制100周年記念事業として「神戸ふるさと文庫」を開館しました。また、「松本海軍文庫」、「吉川文庫」、「青丘文庫」、「藤田レコードコレクション」、「神戸キワニスこども文庫」の寄贈によるコレクションや、寄託資料による「神戸賀川サッカー文庫」、震災を記録し後世に伝える「震災関連資料(1.17文庫)」等を所蔵しています。

分館等の情報

・東灘図書館	〒658-0052	神戸市東灘区住吉東町2丁目3-40	TEL 078-858-8773
・灘図書館	〒657-0027	神戸市灘区永手町4丁目2-1(フォレスト六甲2F)	TEL 078-854-5560
・三宮図書館	〒651-0082	神戸市中央区小野浜町1-4(サザン・グレイスセンター神戸2F)	TEL 078-321-5015
・兵庫図書館	〒652-0897	神戸市兵庫区駅南通5丁目1-1(キャナルタウン1-2F)	TEL 078-682-9501
・北図書館	〒651-1114	神戸市北区鈴蘭台西町1丁目22-1(北区文化センター2-3F)	TEL 078-592-7573
・北神図書館	〒651-1302	神戸市北区藤原台中町1丁目2-2(エコー・リウ南館4F)	TEL 078-981-8210
・新長田図書館	〒653-0835	神戸市長田区細田町7丁目1-27(市営細田住宅2F)	TEL 078-691-1600
・須磨図書館	〒654-0035	神戸市須磨区中島町1丁目2-3(須磨区文化センター1F)	TEL 078-735-7444
・名谷図書館	〒654-0154	神戸市須磨区中落合2丁目2-4(大丸須磨店4F)	TEL 078-742-6560
・垂水図書館	〒655-0893	神戸市垂水区日向1丁目5-1(レバンテ垂水2番館1F)	TEL 078-709-7712
・西図書館	〒651-2277	神戸市西区美賀多台1丁目1番1(なでしこ芸術文化センター)	TEL 078-991-8311

尼崎市立中央図書館

HPIはこちら



〒660-0826 尼崎市北城内27
TEL 06-6481-5244 FAX 06-6481-2142
阪神尼崎駅 南400m 徒歩6分



尼崎市の図書館は、大正9(1920)年に旧尼崎藩主榊井子爵家をはじめとする市民の寄付によって誕生しました。兵庫県の図書館として2番目に長い歴史を持ちます。中核をなす中央図書館は尼崎城に隣接し、市の文化的な象徴としても住民に親しまれています。また、近隣に立地する歴史博物館と連携し、令和5(2023)年からは歴史博物館の所蔵資料も図書館ウェブサイトから検索できるようになっています。

市内には北図書館の他に、生涯学習プラザ7ヵ所とユース交流センターに図書室を配置し、市内全域に渡って図書サービスを受けることができるよう整備しています。市内全体で約73万冊の蔵書があり、令和3(2021)年からは「あまがさき電子図書館」も開始しました。「誰でも、いつでも、どんな資料でも」を奉仕目標とし、来館促進、読書推進に繋がるよう、さまざまな事業にも取り組んでいます。

分館等の情報

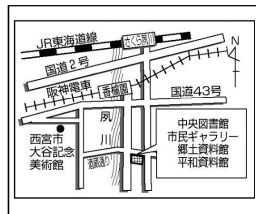
・尼崎市立北図書館 尼崎市南武庫之荘3-21-21 電話番号06-6438-7322

西宮市立中央図書館

HPIはこちら



〒673-8533 西宮市川添町15-26
TEL 0798-33-0189 FAX 0798-33-2266
阪神香櫨園駅下車南へ徒歩6分
JRさくら夙川駅下車南へ徒歩15分



西宮市立図書館は昭和3年、現在の西宮市役所本庁舎南側に、西宮郷の酒造家である辰馬本家当主の十三代目辰馬吉左衛門氏の寄付により建設されました。昭和24年には全国の公共図書館に先駆けて一般閲覧料を無料化するなど先進的な取り組みを行っていましたが、施設の老朽化が激しくなったことなどから、昭和60年、桜の名所、夙川のほとりに新設された西宮市教育文化センター内に西宮市立中央図書館として移転しました。特産である清酒や、西宮にゆかりのある「えびすさま」などの福神関係の資料をはじめとする郷土資料、旧館開館当初からの新聞、明治から昭和初期の雑誌劇刊号を集めた秋山コレクションなどを所蔵しています。

平成2年には市北部地域の拠点となる北部図書館、平成10年には甲子園球場の近くに鳴尾図書館がオープンし、平成13年、4番目の拠点館として阪急西宮北口駅に近接する北口図書館が開館しました。ビジネスパーソンや子育て世代など、幅広い利用者のニーズに合わせた多様な資料を揃え、多くの市民にご利用いただいています。

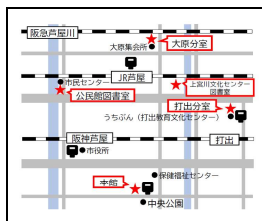
分館等の情報

・北部図書館	〒669-1134	西宮市名塩新町1番地	TEL 0797-61-1706
・鳴尾図書館	〒663-8178	西宮市甲子園八番町1-20	TEL 0798-45-5003
・北口図書館	〒663-8035	西宮市北口町1-2 アクタ西宮東館5階	TEL 0798-69-3151
・越木岩分室	建替え工事のため令和8年夏頃まで閉室中		
・段上分室	〒663-8006	西宮市段上町2丁目10-3	TEL 0798-53-0932
・上ヶ原分室	〒662-0874	西宮市六軒町1-32	TEL 0798-72-7388
・甲東園分室	〒662-0812	西宮市甲東園3丁目2-29(アブリ甲東5階)	TEL 0798-54-3600
・高須分室	〒663-8141	西宮市高須町1丁目7-91	TEL 0798-49-1777
・若竹分室	〒662-0844	西宮市西福町15-12	TEL 0798-67-5505
・山口分室	〒651-1412	西宮市山口町下山口4丁目1-8	TEL 078-904-3961

芦屋市立図書館

〒659-0052 芦屋市伊勢町12番5号
TEL 0797-31-2301 FAX 0797-31-2321
JR芦屋駅から阪急バス「呉川町」下車
阪神芦屋駅から阪急バス「緑町」下車

HPIはこちら



芦屋市立図書館は、1949年(昭和24年)5月1日に前田町の芦屋仏教会館の一角を間借りし、創設しました。1954年(昭和29年)2月11日には芦屋市打出小樋町に移転し、1987年(昭和62年)7月7日には伊勢町に新館を開館しました。1990年(平成2年)12月17日には打出分室を開室し、1991年(平成3年)6月5日には大原分室を開室しました。特別コレクションとしてスポーツ関連資料の「田尾スポーツ文庫」と「松本幸雄バスケットボール文庫」を所蔵しています。

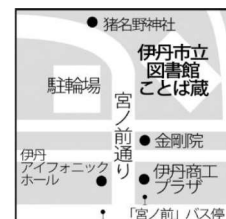
分館等の情報

・打出分室	〒659-0028	芦屋市打出小樋町15番9号	TEL 0797-38-7220
・大原分室	〒659-0092	芦屋市大原町20番2号	TEL 0797-38-7762

伊丹市立図書館

〒664-0895 伊丹市宮ノ前3丁目7番4号
TEL 072-783-2775 FAX 072-784-8091
JR伊丹駅下車、北西へ徒歩約12分
阪急伊丹駅下車、北東へ徒歩約12分

HPIはこちら



伊丹市立図書館本館「ことば蔵」は、平成24(2012)年7月に現在の場所に移転し開館しました。コンセプトは「公園のような図書館」で、約40万冊の蔵書があります。伊丹作家コーナーでは、当市にゆかりのある田辺聖子氏、宮本輝氏の著書や貴重な資料を展示しています。約20万冊が所蔵されている開架書庫は「自動書庫」として機械化されており、利用者自身が図書検索機から出庫指示をおこない、およそ5分ほどで出庫が完了します。また、図書館1階交流フロアでは年間200以上のイベントを開催しており、その多くが月1回開催している市民のアイデアを実現する「寄合」である「交流フロア運営会議」から生まれたものです。市民と図書館スタッフが共に練り上げたイベント開催などが評価され、「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016」の大賞を受賞しました。

分館等の情報

・南分館	〒664-0895	伊丹市南野2丁目3番25号	TEL 072-781-7333
・北分館	〒664-0007	伊丹市北野4丁目30番地	TEL 072-770-0519
・神津分館	〒664-0892	伊丹市森本1丁目8番地22	TEL 072-764-5991
・西分室	〒664-0027	伊丹市池尻4丁目1番地1(イオンモール伊丹昆陽2階)	TEL 072-784-8021

宝塚市立中央図書館

〒665-0836 宝塚市清荒神1丁目2-18
TEL 0797-84-6121 FAX 0797-81-0598
阪急電鉄 宝塚線 清荒神駅下車すぐ

HPIはこちら



当館では、宝塚歌劇に関する資料を郷土資料として収集し、ご利用いただいています。また、絵画・書跡・彫刻・工芸等、幅広い分野の美術関連の資料を「聖光文庫」(清荒神清澄寺 鉄斎美術館の入館料で購入された資料の寄贈を受け設立)でご覧いただけます。同室の展示コーナーでは、複製とはいえ簡単に見ることのできない国宝・重要文化財級の絵巻物や、宝塚市の歴史に関する資料などの展示をしており、市民のみなさんに広く親しまれています。また、「みんなのたからづかマチ文庫」と名付けたプロジェクトでは、市民のみなさんに宝塚の町への想いを1冊の本にまとめてもらい、その本を当館と西図書館に収蔵して公開しており、貸出できるものもあります。さらに、「たからづかデジタルミュージアム」では、国登録有形文化財の旧松本邸の360度パノラマや江戸時代の村の絵図、宝塚温泉の絵はがき、「たからづか文化財さんぽマップ」などをインターネットでご覧いただけます。今後とも、暮らしに役立つ図書館事業にこわい、宝塚市の魅力を高め、広く発信する取り組みを行っていきます。

分館等の情報

・西図書館	〒665-0034	宝塚市小林2-7-30	TEL 0797-77-1222
・中山台分室	〒665-0877	宝塚市中山桜台5-15-2	TEL 0797-89-9606
・山本南分室	〒665-0882	宝塚市山本南2-5-2	TEL 0797-89-1662
・小浜・安倉分室	〒665-0827	宝塚市小浜1-2-1	TEL 0797-87-1787

川西市立中央図書館

〒666-0033 兵庫県川西市栄町25-1 アステ川西内
TEL 072-755-2424 FAX 072-755-2458
阪急電鉄 能勢電鉄<川西能勢口駅>南240m 徒歩3分
JR<川西池田駅>北400m 徒歩5分

HPIはこちら



川西市の図書館事業は昭和58年1月の移動図書館「ともしび号」運行から始まりました。平成3年4月12日に市中心部の商業施設「アステ川西」内に開館した川西市立中央図書館は阪急電鉄・JRの駅、阪急バスターミナルに近く、交通アクセスに優れた市内唯一の図書館として親しまれています。令和2年8月から電子図書館サービスを開始、そのほか学校等への団体貸出配送サービスや市内9公民館図書室との連携により、図書館から遠方の地域の方々にも読書の機会を提供しています。

川西市立中央図書館オリジナル

キャラクター：トモちゃん



川西市立中央図書館オリジナルキャ

ラクター：メグミくん



分館等の情報

分館なし

三 田 市 立 図 書 館

〒669-1535 三田市南が丘2丁目11-57
TEL 079-562-7300 FAX 079-562-7301
神戸電鉄「横山駅」下車徒歩3分
神姫バス「市立図書館前」下車すぐ

HPIはこちら



明治27(1894)年に有馬衛生教育会付属図書部として開設されたのち、太平洋戦争によって一度は廃館となりましたが、昭和40(1965)年に公民館図書室として復活、平成2(1990)年3月に三田市立図書館として開館し現在にいたります。平成5(1993)年には公共建築優秀賞を受賞し、翌年には移動図書館の巡回が始まりました。平成12(2000)年に藍分室、平成17(2005)年にウッドタウン分館が開館し、現在約40万冊の蔵書があります。平成26(2014)年には県下で2番目に電子図書館サービスを導入し、読書アクセスナビリティに基づいてあらゆる立場の方に図書館を利用できるサービスを目指しています。令和元(2019)年に「子ども読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰」を受賞したことを受け、図書館を使った調べる学習コンクールの開催や市内小学校への出張講座など児童サービスにも力をいれています。人口11万人の三田市民の知と憩いの拠点として地域の施設や団体とのつながりを大切にしつつ資料収集・情報発信に努めています。

分館等の情報

・ウッドタウン分館	〒669-1321	三田市けやき台1丁目4-1	TEL 079-565-2236
・藍分室	〒669-1349	三田市大川瀬1307-44	TEL 079-560-7552

猪 名 川 町 立 図 書 館

〒666-251 川辺郡猪名川町白金1-74-16
TEL 072-766-3238 FAX 072-766-8345
阪急電鉄「川西能勢口駅」下車、阪急バス「川西バスターミナル」5番乗り場より白金経由日
生中央駅行き乗車(約35分)から「総合公園前」もしくは「パークタウン中央」バス停下車

HPIはこちら



町アンケートで図書館や児童文庫の充実が第3位に選ばれ、緑豊かな公園内に1階図書館、2階公民館の複合施設として平成8年3月23日に開館。「生活に役立つ図書館」「住民一人ひとりを大切にする図書館」「子どもたちの読書活動を支援する図書館」「住民とともに学び、育つ図書館」の4つを基本方針として運営しています。公園内にあるため付属している駐車場も広くなっており、近隣市から来館される方も多く、開館当初から人口3万人以上の町村立図書館の中で貸出数全国一位を継続しています。

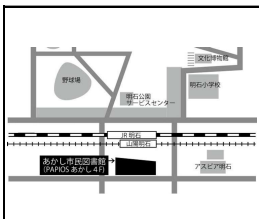
分館等の情報

・日生図書室	〒666-0261	川辺郡猪名川町松尾台1-2-20-203	TEL 072-766-8011
--------	-----------	----------------------	------------------

あ か し 市 民 図 書 館

〒673-8567 明石市大明石町1-6-1 4F
TEL 078-918-5800 FAX 078-913-6071
JR・山陽電鉄(明石)南200m 徒歩2分

HPIはこちら



明石市による図書館業務は、昭和22年に市役所に設置された市民文庫から始まりました。市民への公開は、昭和26年に市民文庫を市立中崎公会堂に移してからです。あかし市民図書館は平成29年1月、前身である明石市立図書館(明石公園内)からバビオスあかし4階に移転リニューアルし、貸出冊数も10冊から20冊に増冊しました。市民一人ひとりの「暮らしにプラスアルファ」をコンセプトに、本と人・人と人が集い出会う文化の交流拠点としての役割を果たしていきます。令和元年に『明石型生船調査資料集・生船写真帖』を郷土資料として発行。同年10月、本で自分のことを紹介する「たこ文庫」が2019年グッドデザイン賞を受賞。また同年10月にユニバーサルルームを開設し、ユニバーサルサービスや機器の充実を図りました。令和3年には「Library of the Year 2021」優秀賞とオーディエンス賞を受賞しました。今後はさらに市民の皆様の声聞き、本のまち明石の核となる施設として成長していきたいと考えます。

分館等の情報

・明石市立西部図書館	〒674-8567	明石市魚住町中尾702-3	TEL 078-918-5675
------------	-----------	---------------	------------------

加 古 川 市 立 中 央 図 書 館

〒675-0101 加古川市平岡町新在家1224-7
TEL 079-425-5200 FAX 079-425-6696
JR神戸線 東加古川駅北600m 徒歩12分

HPIはこちら



昭和60年(1985)11月に加古川総合文化センター内の図書館(通称:同センター図書館)として開館。平成18年(2006)度より教育委員会に移管され、再スタートして現在に至ります。加古川市の公共図書館4館の中心的な役割を持ち、図書館の運営やサービスの調整と充実にも努めています。館内の延床面積は2,419㎡で、約33万冊の資料を所蔵し、特に郷土資料・地域資料の収集と保存を行っています。また、資料数や蔵書内容からレファレンスサービスの中心的な役割も担っています。その他、一般、児童対象の各種集會行事を行い、「加古川市子どもの読書活動推進計画」に沿った取り組みを実施しています。電子図書館サービスは平成28年(2016)に開始し、地域資料のデジタル化や市内小中学生を対象にした「児童書読み放題コンテンツ」の提供なども実施しています。

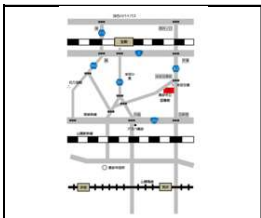
分館等の情報

・加古川市立加古川図書館	〒675-0065	加古川市加古川町篠原町21-8	TEL 079-422-3471
・加古川ウェルネスパーク図書館	〒675-0058	加古川市東神吉町天下原370	TEL 079-433-1122
・加古川海洋文化センター図書室	〒675-0136	加古川市別府町港町16	TEL 079-436-0940

高砂市立図書館

〒676-0805 高砂市米田町米田927-21
TEL 079-432-1355 FAX 079-432-1322
JR〈宝殿〉徒歩約20分

HPIはこちら



高砂市立図書館は「文化を育み学びを支える図書館」を基本理念としています。平成28(2016)年2月、約22万冊の蔵書が収容可能な新館へ移転しました。特色としては、「デジタル郷土たかさご」などのデジタルアーカイブの公開や、館内に多種多様な椅子を配置した読書コーナーがあり、高砂市特産の竜山石レリーフや松右衛門帆のタペストリーを設置するなど、地域の文化を継承・発信するとともに来館者を温かく迎える図書館となっています。

平成28(2016)年度から図書館名営館長を置き、市民が一次資料を製作するゼミ等の「名営館長事業」を実施しています。また、この図書館名営館長事業の「クリエイティブタウンゼミ」における甲南女子大学との連携した取り組みが発端となり、令和6(2024)年2月に高砂市教育委員会と甲南女子大学文学部が社会教育と大学教育を包括した生涯学習の視点に立った人材育成を目的とする連携協定を締結し、様々な連携活動がスタートしています。

分館等の情報

分館なし

稲美町立図書館

〒675-1114 加古郡稲美町国安1286-1
TEL 079-492-7800 FAX 079-496-5074
JR土山駅下車神姫バス上新田北口行き約15分「稲美中央公園前」下車すぐ
自動車で第2神明・明石西インターを降りて北へ15分「国岡」の交差点右折し1km

▼図書館HP



▼電子図書館HP



四季折々の豊かな自然に包まれた「いなみ文化の森」の中で、落ち着いたワイン色のドーム型の建物が、稲美町立図書館です。木造の円形ドームには9万6千冊を収蔵可能で、万葉集に関する専門書や各種雑誌など、多彩な蔵書を揃えています。おはなし室・AVコーナー・参考図書室のほか、中二階に浮かぶガラス張りの閲覧室や屋外で読書が楽しめる図書園があります。

令和4年から電子図書館サービスを開始し、多様な利用に対応しています。



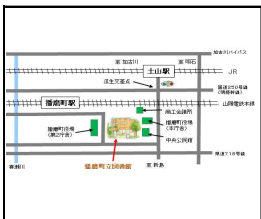
分館等の情報

分館なし

播磨町立図書館

〒675-0156 兵庫県加古郡東本荘1-5-55
TEL 079-437-4500 FAX 079-437-5362
山陽電鉄〈播磨町〉南口 徒歩3分
JR〈土山〉南口 徒歩30分

HPIはこちら



播磨町立図書館は、昭和57(1982)年12月に開館しました。播磨町駅すぐのところにあり利便性が高く、播磨町内外からの利用があります。2階に開架書架、2階に学習室、参考図書資料室、視聴覚室があり、蔵書は約14万冊です。2階の参考図書資料室には「大中遺跡」や「ジョセフ・ピコ」など播磨町の歴史や偉人の資料を集めた郷土資料コーナーを設けています。

平成28(2016)年4月から電子図書館を開始し、図書だけではなく「広報はりま」など広報誌や地域資料の一部も閲覧が可能です。

播磨町教育委員会との共催で、地域コンクールとして『播磨町図書館を使った調べる学習コンクール』を毎年開催し、町内小中学校からも多くの参加があります。これからも地域の方々の生涯学習の場づくりを行い、地域に根差した図書館となれるよう努めていきます。

分館等の情報

分館なし

西脇市図書館

〒677-0057 西脇市野村町茜が丘16番地の1
TEL 0795-23-5991 FAX 0795-25-2220
JR西脇市駅駅から徒歩約20分

HPIはこちら



西脇市図書館は、昭和43年に市民センター内の図書館として業務を開始しました。その後、昭和59年に播磨内陸生活文化総合センター内に図書館としてオープン、そして平成27年10月には、図書館、こどもプラザ、男女共同参画センター、コミュニティセンターの4つの機能を併せ持つ「茜が丘複合施設 Miraie(みらいえ)」内にリニューアルオープンしました。明るく開放的な空間に、開架冊数約14万冊の図書を収蔵、県内初となる読書通帳機を導入し、自動貸出機、無線LANの設備も備えています。

地域ボランティアによる乳幼児への絵本の読み聞かせを実施したり、複合施設と合同イベントを開催したりしながら、複合施設の特徴を生かした開かれた図書館を目指しています。また、誰もが利用しやすい図書館になるよう、図書等の返却と予約図書等の受渡しができるサービスポイントを市内6か所に設置。学校園や地域等への団体貸出も実施しています。

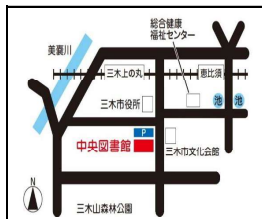
分館等の情報

分館なし

三 木 市 立 中 央 図 書 館

〒673-0433 三木市福井1933番地の12
TEL (0794) 83-1313 FAX (0794) 83-1314
神姫バス・みつきいバス「市役所前」下車
神戸電鉄「上の丸」駅下車徒歩20分

HPIはこちら



三木市立図書館は、昭和57年7月に、市民の教育と文化の発展を図る中心施設として三木城址の一角に、旧三木市立図書館（現在は三木市立みき歴史資料館）を設置しました。その後、平成19年3月に自由が丘公民館図書コーナー、平成21年11月に吉川図書館、平成22年6月に青山図書館の拠点整備をしながら、市内全域サービスに取り組んできました。平成27年7月1日に三木市立中央図書館を三木市役所前に新築移転し、「より多くの人に、より多くの知る喜びを」をキャッチフレーズに、吉川図書館・青山図書館・自由が丘公民館図書コーナーの各拠点とともに、中央図書館を核とした図書館サービスの更なる充実に取り組んでいます。

分館等の情報

・青山図書館	〒673-0521	三木市志染町青山3丁目15番の2	TEL (0794) 87-8000
・吉川図書館	〒673-1114	三木市吉川町吉安246番地1	TEL (0794) 72-1108
・自由が丘公民館 図書コーナー	〒673-0551	三木市志染町西自由が丘1丁目595	TEL (0794) 85-4700

小 野 市 立 図 書 館

〒675-1366 小野市中島町64番地
TEL 0794-62-0456 FAX 0794-62-0606
神戸電鉄<小野駅> タクシー約5分
神姫バス<イオン小野前下車> 徒歩10分

HPIはこちら



小野市立図書館は、地域の方々の生涯学習、文化創造の拠点として、平成8(1996)年に開館しました。現在は約23万冊の蔵書があり、小説や実用書、絵本のほか、雑誌、参考図書、大活字本、点字図書、外国語絵本など、幅広く取り揃えています。平成28年からは、インターネットで読書ができる電子図書館も導入しています。また、ボランティアによる「お話し会」や「英語でお話し会」のほか、年間を通して、季節に合わせた本の展示、「調べものクイズ」、「大人向け朗読会」など、小さなお子様から大人まで楽しめるイベントを多数開催しています。さらに、ヤングアダルトコーナーでは、学生ボランティア「文芸部」による、おすすめ本と手作りのPOPを展示しています。そのほか、国立国会図書館が全国の図書館等と構築する「レファレンス協同データベース」に、平成27年から参加し、調査事例の継続的な登録が評価され、国立国会図書館から9年連続で礼状を頂いています。今後も生涯学習の拠点として、幅広く資料・情報を集め、市民に親しまれる図書館づくりを目指します。

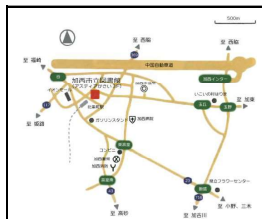
分館等の情報

分館なし

加 西 市 立 図 書 館

〒675-2312 加西市北条町北条28-1
TEL 0790-42-3722 FAX 0790-45-3133
北条鉄道「北条駅」すぐ
神姫バス「アステシア加西」徒歩1分

HPIはこちら



加西市立図書館は、「図書館」としての「静」の空間(4階)と「情報機能ゾーン」としての「動」の空間(3階)の2フロアから構成されています。3階には、新聞・雑誌・AVコーナー、キッズコーナー等を、4階には、読書室や展望読書コーナー等を設けており、落ち着いた雰囲気の中で目的に応じた利用ができます。蔵書はICタグで管理しており、自動貸出機と自動返却機により対面で接触することなく利用できるようになっています。令和5年にはスマート図書館サービスとして、電子図書館、公式LINE、オンラインでの利用者登録などのサービスを拡充しました。また、学校連携事業として、小・中・特別支援学校に出前講座や図書の託送サービス等を行っています。

分館等の情報

分館なし

加 東 市 中 央 図 書 館

〒673-1431 加東市杜123番地
TEL 0795-42-8000 FAX 0795-42-8010
加東市役所南バス停から徒歩約3分 約274m
社裁判所前バス停から徒歩約3分 約239m

HPIはこちら



2006(平成18)年3月に杜町、滝野町、東条町の合併により「加東市」が発足し、各町既存の4図書館で「加東市立図書館」が誕生しました。2019(平成31)年3月に「図書・情報センター」が閉館し、その後は「加東市中央図書館」「加東市滝野図書館」「加東市東条図書館」の3館で運営しています。年末年始以外は、1年中いずれかの図書館が開いている状態をつくり、市民の利便性を高めています。また、2016(平成28)年1月から北播磨広域定住自立圏共生ビジョンによる図書館相互利用推進事業を開始し加西市、加東市、西脇市、多可町の圏域内で図書の相互貸借、返却本の預かりサービスを実施しています。

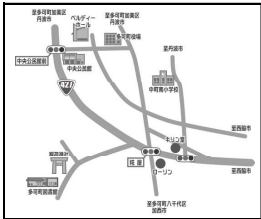
加東市立図書館は、人口規模別の市立図書館で、令和4年度実績をもって18年連続貸出密度日本一となりました。これから44万冊の蔵書で、市民の皆様「読みたい、知りたい、楽しみたい」にお応えできるように努めてまいります。

分館等の情報

・加東市滝野図書館	〒679-0212	加東市下滝野1369番地2	TEL 0795-48-3003
・加東市東条図書館	〒673-1311	加東市天神66番地	TEL 0795-47-1500

多可町図書館

〒679-1133 多可郡多可町中区粧屋434-11
TEL 0795-32-5170 FAX 0795-32-5171
JR西脇市駅から車で25分



2004年(平成16年)3月にオープンした多可町図書館は今年で20年目を迎えます。結婚式場を改装した建物で、シャンデリアや赤い絨毯など、ところどころ当時の名残をとどめています。暮らしに役立つ図書を中心に収集し、現在、分室を合わせ約18万冊の図書と95タイトルの雑誌を所蔵しています。

開館の翌年には図書館ボランティア【サポート・わっど】が発足し、図書館と協働でイベント等を開催してきました。子どもの読書活動にも力を入れ、2011年(平成23年)には「子どもの読書活動優秀実践活動団体文部科学大臣表彰」も受賞しています。

その図書館も2025年(令和7年)4月、新たに建設中の生涯学習まちづくりプラザAsmile(あすみる)内に移転します。より多くの方に利用していただける図書館をこれからも目指していきます。

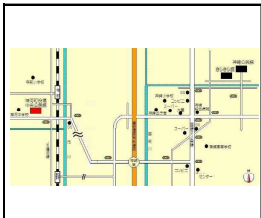
分館等の情報

・多可町加美図書室	〒679-1201	多可郡多可町加美区豊部250	TEL 0795-35-0080
・多可町八千代図書室	〒677-0121	多可郡多可町八千代区中野間650-1	TEL 0795-37-0250

※両分室は来年1月休館。本館は2～3月休館予定です。

神河町中央公民館図書室

〒679-3116 兵庫県神崎郡神河町寺前64番地
TEL 0790-34-1450 FAX 0790-34-1285
JR寺前駅から南西へ400m 徒歩5分



HPIはこちら



平成17(2005)年に大河内町と神崎町が合併し神河町が誕生して以来、中央公民館及び神崎公民館の2か所に図書室を設置し、約2万冊の蔵書があります。また、きらきら館には、絵本や児童書を中心に子ども向けの書籍約1万冊を揃えています。

令和7年(2025)年、2つの図書室を集約し、新たな図書コミュニティ施設を開設する予定です。

分館等の情報

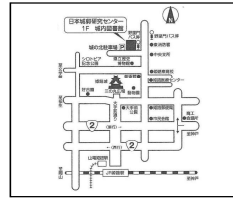
・神崎公民館図書室	〒679-2413	神河町中村10番地	TEL 0790-32-1681
・きらきら館	〒679-2413	神河町中村29番地	TEL 0790-32-2410

姫路市立城内図書館

HPIはこちら



〒670-0012 姫路市本町68番地258
TEL 079-289-4888 FAX 079-289-1896
JR・山陽電鉄姫路駅から神姫バス「野里門」下車すぐ



姫路市立図書館は昭和22(1947)年、姫路城内の元兵舎に開館しました。昭和31(1956)年からは手柄山図書館、平成2(1990)年からは日本城郭研究センター内の城内図書館を本館としています。昭和54(1984)年から、「姫路市の図書館計画」に基づく図書館サービス網の拡充のため分館建設も進められ、現在は14の分館を有しています。自動車文庫「しろか号」は昭和32(1957)年からサービスを提供しています。

令和6(2024)年3月31日現在、蔵書総数は139万冊を超え、内容は一般的なもののから、兵庫県内の郷土資料、城郭関係資料まで幅広く所蔵しています。現在では手に入らない貴重な資料もあります。

レファレンスサービス、ビジネス支援サービス、医療健康情報サービス、児童サービスを実施し、学校支援サービスにも力を入れています。令和5(2023)年3月には電子書籍貸出サービスを開始しました。

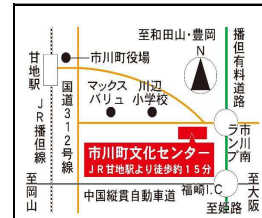
城内図書館からは四季折々の姫路城がよく見えます。駅からは少し距離がありますが、散歩がてら、ぜひご来館ください。

分館等の情報

・網干分館	〒671-1255	姫路市網干区垣内南町1429番地6	TEL 079-274-1495
・花北分館	〒670-0806	姫路市増位新町一丁目24番地	TEL 079-285-1581
・飾磨分館	〒672-8044	姫路市飾磨区下野田一丁目1番地	TEL 079-235-8555
・東光分館	〒670-0835	姫路市幸町94番地	TEL 079-288-2871
・白浜分館	〒672-8023	姫路市白浜町甲396番地8	TEL 079-245-3222
・安室分館	〒670-0081	姫路市寺島二丁目7番14号	TEL 079-298-8750
・青山分館	〒671-2222	姫路市青山五丁目2番1号	TEL 079-266-7703
・広畑分館	〒671-1116	姫路市広畑区正門通三丁目7番地	TEL 079-238-1044
・手柄分館	〒670-0966	姫路市延米149番地1	TEL 079-289-1044
・東分館	〒671-0232	姫路市御園野町御蔵283番地15	TEL 079-282-8001
・安富分館	〒671-2401	姫路市安富町安志1151番地	TEL 079-66-2975
・香寺分館	〒679-2151	姫路市香寺町香呂239番地1	TEL 079-232-9020
・夢前分館	〒671-2103	姫路市夢前町前之庄2160番地	TEL 079-336-1466
・家島分館	〒672-0101	姫路市家島町真浦2137番地1	TEL 079-325-2331

いちかわ図書館

〒679-2315 神崎郡市川町西川辺715
TEL 0790-26-3055 FAX 0790-26-0237
JR播但線甘地駅から徒歩約15分



いちかわ図書館は、ひまわりホールや橋本忍記念館などが併設された市川町文化センターの中にあります。大きなガラス窓からは芝生広場が眺められ、自然光が差し込む開放感のある図書館です。蔵書冊数は約68,000冊、雑誌は約150タイトルを所蔵しています。脚本家の橋本忍氏が寄贈された本や関連資料が並ぶコーナーがあります。また、わらべうたや絵本の読みきかせ、工作などを定期的に行うなど児童サービスに力を入れています。

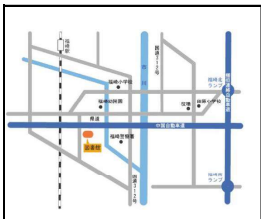
休館日は火曜日・第3木曜日・祝日の振替・年末年始
開館時間は10時から18時

分館等の情報

分館なし

福 崎 町 立 図 書 館

〒679-2215 神崎郡福崎町西治360番地1
TEL 0790-22-3790 FAX 0790-22-5533
JR播但線福崎駅から南西1km 徒歩15分



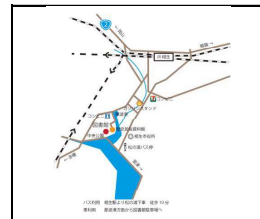
平成17年に開館した福崎町立図書館は、令和7年7月に開館20周年を迎えます。館内には現在16万冊の蔵書があり、福崎町名誉市民の民俗学者柳田國男氏や船舶工学者吉藏雅夫氏の著書を集めたコーナーも常設しています。開館当初から図書館を拠点に「図書館応援隊」というボランティア団体が活動しており、館内外の美化活動や読み聞かせ、館内喫茶コーナーの運営、紙芝居制作実演、かたりべ等多方面での生涯学習の場として活用されています。図書館応援隊の中でも特色ある活動として、布絵本グループがあり、これまでに120冊を超える布絵本や館内のタペストリー等を制作し、来館者の目を楽しませてくださっています。これからも「ほん・ひと・ゆめのひろば」として、多くの方に楽しくご利用いただける図書館であり続けたいと思います。

分館等の情報

分館なし

相 生 市 立 図 書 館

〒678-0053 相生市那波南本町11-1
TEL 0791-23-5151 FAX 0791-22-7164
JR相生駅下車、県道64号を南下し、芋谷橋を渡り直進、那波港T字路を左折。200m直進、右折し坂道を上ると到着。



HPIはこちら



○利用案内

【貸 出】 1人10冊 【貸出期間】 2週間以内
【返 却】 図書館窓口・返却ポストまたは市内6公民館が駅前あいおい情報ラウンジで返却できます。
【登 録】 住所・氏名等が確認できるもの(運転免許証や健康保険証等)を持参ください。登録ができるのは、相生市内在住の方、相生市に通勤・通学している方、播磨園城8市8町在住の方です。

○施設のご案内

Wi-Fi、車椅子、多目的トイレ、自動販売機あり。
1階は一般室及び児童室、2階に思索の広場(飲食可能なフリースペース)、思索の庭(海や公園が一望できます)、学習室等があります。3階は視聴覚室やおはなしの部屋があり、イベント時に利用します。

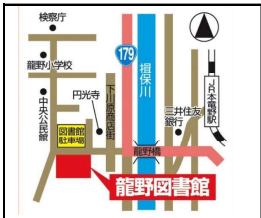
分館等の情報

分館なし

たつの市立龍野図書館

〒679-4165 兵庫県たつの市龍野町本町57-1
TEL 電話番号 (0791)62-0469 FAX FAX番号 (0791)62-3455
JR姫新線<本竜野>西方へ徒歩15分
山陽自動車道<龍野インター>より北西へ5分

HPIはこちら



龍野図書館は、「赤とんぼ」の作詞者三木露風が龍野文化のために当時の龍野小学校長に金百円を寄付され、龍野町立図書館が創設されたことに始まり、平成17(2005)年10月の市町村合併により現在の名称に変更しました。今年度は、龍野図書館が落成して100周年を迎えます(落成年月日:1924年12月19日)。

また、令和4年4月に策定された「第2次たつの市子どもの読書活動推進計画」に基づき、おはなし会や学校園との連携をとることで、子どもが読書に親しむための環境づくりに取り組んでいます。

市内には他に、たつの市立新宮図書館、たつの市立播保川図書館、たつの市立御津図書館があり、それぞれが郷土資料を積極的に所蔵することで、特色を生かした地域の図書館を目指しています。

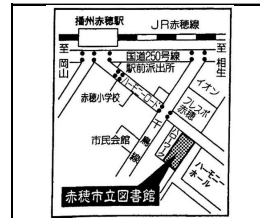
分館等の情報

・たつの市立新宮図書館	〒679-4311 たつの市新宮町宮内75-1	TEL 0791-75-3332
・たつの市立播保川図書館	〒671-1621 たつの市播保川町正條354-1	TEL 0791-72-7666
・たつの市立御津図書館	〒671-1331 たつの市御津町岩見315-6	TEL 079-322-1007

赤 穂 市 立 図 書 館 (日本海水赤穂ライブラリー)

〒678-0232 赤穂市中広907
TEL 0791-43-0275 FAX 0791-43-6291
JR播州赤穂駅より南東に徒歩10分
山陽自動車道赤穂ICより自動車10分

HPIはこちら



赤穂市(加里屋地区)に図書館が昭和47年(1972)7月に初めて開館しました。開館後30年を経過し、建物が老朽化・狭隘化により、市制施行50周年記念事業として、新たに平成14年(2002)3月、中広地区に移転開館しました。建物は、鉄筋鉄骨コンクリート造2階建て、城下町をイメージ、書架は流下式塩田の枝状架を想起させるデザインとなっています。2002年にグッドデザイン賞(建築・環境デザイン部門)、2003年に照明学会の照明普及賞優秀施設賞に選ばれています。「おはなしのへや」の意は草間彌生がデザインした『水玉の銀河』、北側階段の壁には、市民の方から寄贈された奈良美智の彫刻『マルチングムーン』が飾られ、正面玄関には山崎正義の彫刻『おはようの群像』があります。屋外読書テラスが1階と2階に配置されています。蔵書は21万冊、購入雑誌は120タイトル、東側には畳コーナー、ベンチ席なども設置されています。北側の地域資料コーナーには、赤穂浪士や忠臣蔵に関する歴史資料が充実しています。館外貸出は、赤穂市在住の他、東備定住自立園、播磨園城連携中核都市圏内在住者の貸出も可能となっています。

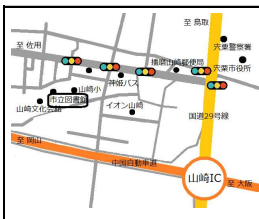
分館等の情報

分館なし

宍粟市立図書館

〒671-2576 宍粟市山崎町鹿沢81
TEL 0790-62-4620 FAX 0790-62-9688
JR播磨新駅から神姫バス山崎行き「山崎停留所」下車、徒歩5分
JR姫路駅から神姫バス山崎行き「山崎停留所」下車、徒歩5分

HPIはこちら



昭和63年4月に山崎町立図書館が、山崎歴史郷土館を併設する複合施設として山崎城跡内に建設されました。平成17年に宍粟郡の山崎町、一宮町、波賀町、千種町の4町が合併し宍粟市となり、名称を宍粟市立図書館に改めました。宍粟市の特徴である「森林」や「発酵」の資料に力を入れています。播磨科学公園都市圏域定住自立圏連携事業(図書館関連事業)と播磨圏域連携中核都市圏の図書館相互利用促進事業に参加しています。

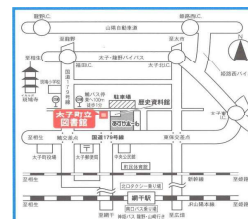
分館等の情報

分館なし

太子町立図書館

〒671-1561 播磨郡太子町鰯1310-7
TEL 079-277-1580 FAX 079-277-5684
太子・龍野バイパス 太子IC、福田ICより車で5分
JR網干駅より神姫バス「龍野・山崎行き」鰯バス停下車徒歩2分

HPIはこちら



太子町立図書館は、1983(昭和58年)年に開館し、皆さんに、本のもたらし喜びと図書館のサービスを通して充実した日々を過ごしていただくため、質の高い図書館サービスを展開しています。蔵書数が約17万冊と町の中では多く、子どもから高齢者まで、きめ細かい読書案内とレファレンス・サービス、移動図書館による全域サービスに努めています。また、開館当初から「おはなしの部屋」を設け、絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行い、子どもが本の世界を楽しめるよう努めています。

さらに、普段は18時までの開館ですが、毎週金曜日は20時まで開館しています。昼間の図書館とは異なった落ち着いた雰囲気、週末の夜のひとときを本を選びながらゆっくり過ごしていただけます。

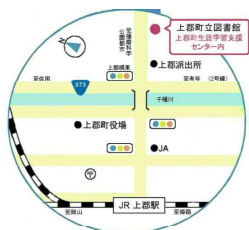
分館等の情報

分館なし

上郡町立図書館

〒678-1231 赤穂郡上郡町上郡459-1(上郡町生涯学習支援センター内)
TEL 0791-52-4611 FAX 0791-52-4611
JR上郡駅正面の道を北東へ1.7km 徒歩20分

HPIはこちら



上郡町立図書館は平成27(2015)年に町民図書室から町立図書館に名称変更された小さな町の小さな図書館で、生涯学習支援センターに併設されています。蔵書数5万冊ほどですが、小さいながらも探している本が見つかる図書館を目指し、利用者の要望に応えられるよう資料を収集しています。図書室だった昭和58(1983)年からボランティア講師によるおはなし会が始まり、平成14(2002)年からは、小学校にも出向き、現在では町内すべての小学校全学年で実施しています。また、上郡町では「文化を育む町づくり」を推進しており、その一環として、平成3(1991)年から講演会や原画展などを開催し、本とのふれあいや読書の素晴らしさについて、啓発・普及に努めてきました。コロナ禍を経て、人々のつながりが希薄になる中、これまで以上に多くの方に、読書への興味・関心を深めていただく場として、充実を図り、親しまれる図書館を目指して参ります。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

分館等の情報

分館なし

佐用町立図書館

〒679-5301 佐用郡佐用町佐用2585
TEL 0790-82-0874 FAX 0790-82-0313
JR姫新線・智頭線佐用駅から徒歩1分
中国自動車道佐用ICから車で5分

HPIはこちら



佐用町立図書館は、平成13(2001)年4月に「おりひめ文化ホール」との複合施設としてさよう文化情報センター内に開館しました。町役場に隣接し、公共機関や商店街も至近にあるなど大変利便性にすぐれています。天井の高い館内は、すべて木製の家具でしつらえ、温かく親しみやすい雰囲気です。町内には県立西はりま天文台を有し、天文・宇宙関係の資料を積極的に収集するとともに、高齢者に好評の大活字本を多数揃えています。また、町は県の南西部、岡山県との県境にあり、旧出雲街道と因幡街道の交わる位置にあるため、古くから岡山県との往来がさかんな地域で、そのため、郷土資料は兵庫県だけでなく、岡山県の資料も豊富に揃えています。町の情報センターとして、住民の生涯にわたる「暮らしに役立つ」図書館をめざしています。

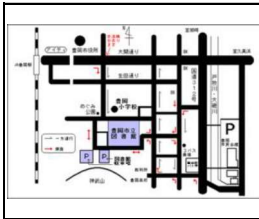
分館等の情報

分館なし

豊岡市立図書館

〒668-0042 豊岡市京町5-28
TEL 0796-23-6151 FAX 0796-24-1819
JR豊岡駅から徒歩15分

HPIはこちら



豊岡市民の「知の蔵」として、全館で40万点の資料を所蔵しています。本館はコウノトリ、城崎は温泉、竹野は海(北前船)、日高は冒険(植村直己)、出石は蕎麦、但東は教育(東井義雄)など、各館で特色のある郷土資料をコレクションしています。

また電子図書サービスを開始し、来館が困難な市民への読書サービスの提供に努めています。

本館にはおしゃべりや飲食が可能な「いこいの間」「いこいの庭」があり、読書をしなくても館内でくつろいで過ごすことが出来ます。「いこいの間」では絵画展、「いこいの庭」ではフリーマーケットやワークショップ、囲碁教室などを開催しており、市民が活躍する場所にもなっています。

本館では映画会を毎月開催しており、老若男女問わずたくさんの方に参加いただいています。

子育て世代へのサービスとして、図書館託児サービス「ママパパへの読書タイムプレゼント」を全館で実施しています。

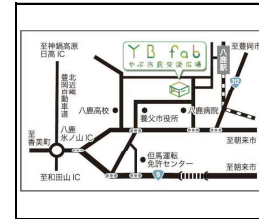
分館等の情報

・城崎分館	〒669-6195	豊岡市城崎町桃島1057-1(城崎庁舎2階)	TEL 0796-21-9072
・竹野分館	〒669-6292	豊岡市竹野町竹野1585-1(竹野庁舎3階)	TEL 0796-21-9078
・日高分館	〒669-5391	豊岡市日高町柿布920(日高庁舎1階)	TEL 0796-21-9060
・出石分館	〒668-0292	豊岡市出石町内町1(出石庁舎1階)	TEL 0796-21-9010
・但東分館	〒668-0393	豊岡市但東町出合150(但東市民センター1階)	TEL 0796-21-9036

養父市立図書館

〒667-0021 養父市八鹿町八鹿538-1
TEL 079-662-0070 FAX 079-662-2288
JR(八鹿)・南西1.1km 徒歩15分

HPIはこちら



当館は、やぶ市民交流広場(愛称:YBファブ)の一施設として令和3年9月に開館しました。養父市で初、かつ市立としては兵庫県で最後の、市民待望の図書館です。前身である八鹿公民館図書室から大幅に蔵書数、床面積を増やし、現在約3.5万冊の資料を所蔵しています。

養父市が生んだ儒学者で但馬聖人と呼ばれた池田草庵、郷土出身で「魔界転生」や「忍法帖シリーズ」で有名な作家・山田風太郎やかつて養父市の主産業を支えた養蚕等郷土にまつわる資料の収集に力を入れており、市内の関連施設の紹介も含めた特設コーナーを設置しています。令和4年度に充実を図った大型絵本は、市内外のこども園や読み聞かせボランティアの方に好評です。

令和6年4月より、スマートフォンに表示されるバーコードの提示で従来の利用者カードと同じように貸出しができる、「スマホで貸出」のサービスを開始しました。より気軽に読書を楽しんでいただけるようアプローチを続けていきます。

分館等の情報

・養父分館	〒667-0101	養父市広谷538-1	TEL 079-664-1141
・大屋分館	〒667-0311	養父市大屋町大屋市場20-1	TEL 079-669-0120
・関宮分館	〒667-1105	養父市関宮613-6	TEL 079-667-2331

朝来市和田山図書館

〒669-5213 朝来市和田山町玉置861
TEL 079-672-1700 FAX 079-672-1733
JR(和田山)徒歩約20分
全但バス(中央公園)すぐ

HPIはこちら



和田山図書館は平成7年8月1日に和田山町立図書館として開館し、平成17年の市町村合併を機に朝来市和田山図書館と名称を変更しました。付近には生涯学習センターや文化ホール、中央公園があり、一帯が市民の学びや憩いの場となっています。

現在の蔵書は約16万冊あり、国史跡竹田城跡にちなんで「お城コーナー」や、当市出身の児童文学作家森はな氏の著書を集めた「森はなコーナー」を常設しています。

日頃から、図書館の基本的なサービスである幅広い資料収集と丁寧な情報提供を心がけています。また、利用者がゆったりと過ごしたり、調べものを気軽にたずねられるような、地域に密着した図書館であるよう努めています。

分館等の情報

・あさご森の図書館	〒679-3431	朝来市新井194	TEL 079-670-4710
・生涯図書館	〒679-3301	朝来市生涯門口銀谷791-1	TEL 079-679-2240

香美町立香住区中央公民館図書室

〒669-6544 兵庫県美方郡香美町香住区香住114-1
TEL 0796-36-3764 FAX 0796-36-3568
JR香住駅から840m 徒歩13分

HPIはこちら



香美町に関する郷土資料や図書を中心とした約3万冊の蔵書があり、これらの資料にもとづいて町民からのレファレンスに答えています。

【図書室ご利用のご案内】
◇開館時間 9:00～21:30(22:00 閉館)
◇休館日 月曜日、祝祭日、年末年始等
◇貸出し 5冊まで 2週間
◇近隣市町の図書館の利用について
豊岡市、養父市、新温泉町、鳥取県(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)については、当町と相互利用協定を結んでいます。

分館等の情報

・村岡区中央公民館図書室	〒667-1311	美方郡香美町村岡区村岡396	TEL 0796-98-1366
・小代地区公民館図書室	〒667-1522	美方郡香美町小代区美山100	TEL 0796-97-3966

新温泉町立加藤文太郎記念図書館

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂842-2
TEL 0796-82-5251 FAX 0796-82-5250
JR<浜坂>北600m 徒歩8分
新温泉町民バス<図書館前>徒歩すぐ

HPIはこちら



新田次郎『孤高の人』のモデルとして知られる昭和初期の登山家・加藤文太郎を顕彰し、平成6(1994)年10月に開館しました。建物の外観や内装など、様々な所に加藤文太郎が登頂した山々の意匠をほどこしています。
館内には加藤文太郎記念資料室および山岳図書閲覧室が併設されており、加藤文太郎が登山の際に実際に使用した道具のほか、登山に関係するおよそ5,600冊の図書を展示しています。
蔵書10万冊のうち児童書がおよそ4割を占めるほか、おはなし会やプログラミング教室の定期開催など、児童向けのサービスに力を注いでいます。
《利用案内》
・開館時間 10時～18時(月～金) 10時～17時(土・日)
・休館日 木曜日・第3火曜日(図書整理日)・第4月曜日(いずれも祝日の時は翌日)、年末年始、特別図書整理期間

分館等の情報

分館なし

丹波篠山市立中央図書館

〒669-2206 丹波篠山市西吹88-1
TEL 079-590-1301 FAX 079-594-5450
丹波篠山駅東出口から徒歩15分(1.7km)
同駅西出口からウイング神姫バスに乗車(5分)、丹波篠山市立図書館前停留所下車1分

HPIはこちら



丹波篠山市における図書館は、平成11年4月の「篠山市」誕生を機に、旧篠山町立本郷図書館を篠山市立本郷図書館として引継ぎ、平成15年4月に丹波篠山の「知」の拠点として、篠山市立中央図書館と篠山市民センター図書コーナーが同時に開館しました。(令和元年5月1日、丹波篠山市に市名変更)
当館では、毎月10日を「丹波篠山だけ図書館の日」として、普段静かすぎて図書館を利用しにくいと思われる方や小さなお子さま連れの方にも利用していただきやすいように、館内にBGMを流し、おはなし会やイベント等を開催し、いつもの図書館とは少し違う雰囲気づくりをしています。
また郷土資料では、古地図や篠山の郷土史家 奥田素々斎氏が所蔵していた資料や古文書である「素翁文書」の他、篠山新聞社が大正9年11月から平成3年まで発行していた「篠山新聞」を計画的に電子化しています(令和5年度末現在、昭和41年までの記事を電子化)。電子化した郷土資料は館内パソコンでの閲覧のみのご利用となります。

分館等の情報

・丹波篠山市民センター図書コーナー 〒669-2321 丹波篠山市黒岡191 TEL 079-552-0394

丹波市立中央図書館

〒669-3602 兵庫県丹波市氷上町常楽233番地
TEL 0795-82-7100 FAX 0795-82-7200
JR石生駅より車で10分
ウイング神姫「丹波市役所」バス停より徒歩3分

HPIはこちら



平成16年11月1日、氷上郡6町が合併し丹波市が誕生し、丹波市内6館の図書館サービスを開始しました。6館で資料のやり取りを行う物流を整備しており、利用者はどの図書館の蔵書でも、自由に最寄りの図書館等で貸出し・返却が可能です。またWeb上でも予約・貸出し延長が可能となっています。
現在は個人貸出しの上限が10冊(2週間)、団体貸出しの上限が40冊(4週間)となっています。丹波市に関する郷土資料を始めとした資料を6館合計で約42万冊所蔵しており、市民の読書活動や課題解決を支援する施設として運営しています。
また、平成29年4月から丹波市周辺市町を対象に広域貸出しを開始、令和4年10月から電子図書館サービスを開始しています。

分館等の情報

・柏原図書館	〒669-3309	丹波市柏原町柏原5528番地	TEL 0795-72-0313
・青垣図書館	〒669-3892	丹波市青垣町佐治114番地	TEL 0795-87-1111
・春日図書館	〒669-4192	丹波市春日町黒井496番地2	TEL 0795-74-1611
・山南図書館	〒669-3198	丹波市山南町谷川1110番地	TEL 0795-77-0336
・市島図書館	〒669-4322	丹波市市島町上田814番地	TEL 0795-85-2733

洲本市立洲本図書館

〒656-0021 洲本市塩屋一丁目1-8
TEL 0799-22-0712 FAX 0799-26-3155
洲本高速バスセンターより徒歩10分

HPIはこちら



兵庫県で2番目に古い歴史を持つ当館は、令和5年9月12日に、現在地での開館25周年を迎えました。明治38年建築の鐘紡洲本工場のレンガ壁をリノベーションした建物は、図書館建築の第一人者鬼頭梓氏の手によります。
青年期を戦時下に送った氏は、開架式閲覧室を持つ戦後型図書館建築のパイオニア。「図書館は市民の誰もが等しく利用できる公共空間であり、民主主義の根拠を支えるもの」という信念を具現化した当館(近代化産業遺産に認定)は、市民の切実な思いが又結実したものでありました。その思いは今も「図書館市民まつり」に引き継がれ、令和5年度「全国優良読書グループ表彰」を受けた「洲本図書館おはなし会ボランティア」の活動や、1140回を数えるテレホンライブラリー(0799-24-0024)での本の紹介他、連続と続く日々の積み重ねが当館の歴史を作っています。
面展示常時800冊の児童書6万冊を含む所蔵23万冊十江戸時代の儒学者柴野栗山所蔵本等の古書を持って、これからも利用者の心の栄養・人と人のつながり・まちづくりのもととなる図書館を作っていきます。

分館等の情報

分館なし

洲本市立五色図書館

〒656-1325 洲本市五色町鮎原南谷59
TEL 0799-32-1693 FAX 0799-32-0647
島外から 津名一宮IC下車、志筑郡家線を西行、竹谷を右折、鮎原線南下、南谷を右折
洲本方面から 下加茂交差点を洲本五色線を五色方面へ約9km

HPIはこちら



洲本市立五色図書館(愛称「えるる五色」)は、山々のシルエットや五色石の独特の丸みをあらわした美しいフォルムが特徴的で、地場産のいぶし瓦によって落ち着いた空間を実現しています。開架フロアはあたたかみのある木造で、船底をイメージする天井の木組みが自然と共生する五色らしい施設を表しています。
また「ふるさとの偉人コーナー」には、五色を代表する高田屋嘉兵衛、MK鋼発明の三島徳七博士、阿久悠氏に関連する資料が展示されています。特に故八代垂紀さんが描かれた「阿久悠氏肖像画」は、一見の価値あります。
市内の保育園、学校、放課後こども教室、児童クラブへ月1回の配本サービスを実施し、学校図書館、子ども読書推進の支援にも尽力しています。

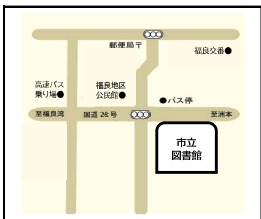
分館の情報

分館なし

南あわじ市立図書館

〒656-0501 南あわじ市福良甲300番地
TEL 0799-53-0234 FAX 0799-53-0235
高速バス・神戸三宮・舞子～淡路島(福良)線(福良)から徒歩5分

HPIはこちら



南あわじ市立図書館は、兵庫県で最南端に位置する南あわじ市が設置している公共図書館です。三原郡4町が平成17年(2005)年1月に合併して南あわじ市となり、南淡町立図書館を南あわじ市立図書館としました。現在、三原町の図書館を三原分館、緑町の図書室を広田地区公民館図書室、西淡町の図書室を湊地区公民館図書室として、4施設で市内の図書館運営を行っています。
当館は国道沿いに遊具と広場を備え、トップライトの陽光と木目張りの床が親しみやすい開架室内となっております。
蔵書17万冊の中には、南あわじ市及び淡路島内の郷土資料や医療・福祉・健康分野の寄贈図書末廣文庫を所蔵し、会議室や視聴覚室、休憩室が設置されております。貸出型図書館から滞在型図書館へと変わることを目指し、世代を越え絶え間ない読書活動推進の取組みを主に、市民ワークショップの開催など市民協働により市民とめざす図書館づくりを進めてまいります。

分館等の情報

・三原分館 〒656-0475 南あわじ市市三條880 TEL 0799-43-5037

淡路市立津名図書館

〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島5-4
TEL 0799-62-2345 FAX 0799-62-4338
淡路市北部生活観光バス「しづかホール前」バス停 徒歩1分
神戸淡路鳴門自動車道「津名一宮IC」より車で約10分

公民インスタグラムはこちら



淡路市内には、津名と東浦の2つの図書館と北淡、一宮、岩屋の3つの公民館図書室があります。2館3室を合わせて約39万冊の蔵書があり、図書館(図書室)ネットワークを利用し、市内どこの図書館・図書室でも貸出、返却、予約、資料の検索などができます。
津名図書館は、約800席を備える淡路市立しづかホールに隣接しており、開架コーナーのほか展示ギャラリーや研修室、サポーターズルームなどを備えています。
東浦図書館は、約350席を備える淡路市立サンシャインホール内に併設されており、開架コーナーのほかAVコーナーや対面朗読室、おはなしコーナーなどがあります。
『ひと×情報＝つながりを育む活動の場』としての図書館を目指しており、様々なワークショップやセミナーを開催しています。

分館等の情報

・東浦図書館	〒656-2305	淡路市浦148-1	TEL 0799-74-0251
・北淡公民館図書室	〒656-1711	淡路市富島25-41	TEL 0799-82-1150
・一宮公民館図書室	〒656-1511	淡路市郡家396-1	TEL 0799-85-0509
・岩屋公民館図書室	〒656-2401	淡路市岩屋1514-18	TEL 0799-72-5112

兵庫県立図書館 開館50周年記念事業記録集

令和 7 年 4 月発行

兵 庫 県 立 図 書 館

〒673-8533 明石市明石公園1番27号

T E L (078)918-3366 (代表)
(078)918-3377 (レファレンス)

F A X (078)913-9229
(078)918-2500 (協力貸出)

ホームページ <https://www.library.pref.hyogo.lg.jp>
